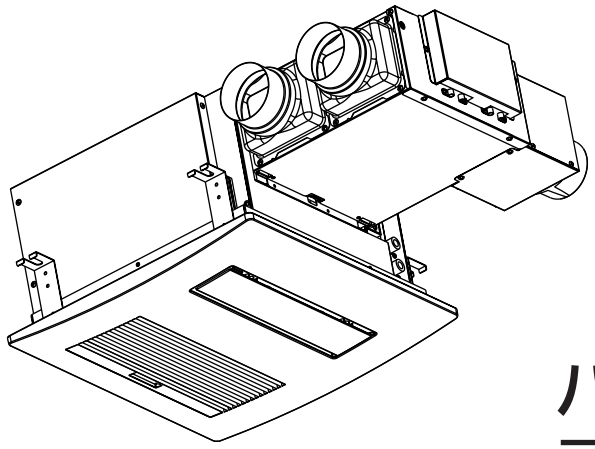


Panasonic

工事説明書

ミスト機能付き
バスルームコンディショナー

品番　FY－28UST3HP
FY－28US3HP

（単相200V仕様）

特定保守製品

■この工事説明書は「バスルームコンディショナー」に必要な施工方法のみを記載しています。
バスルームの施工説明書と併せてお読みのうえ、正しく施工をおこなってください。
■ご注意いただく内容については、バスルームの施工説明書に記載の「安全上のご注意」も、施工前に必ずお読みいただき、安全に施工をおこなってください。
■この商品には「取扱説明書」を添付していますので、バスルームの「取扱説明書」と共に、必ずお客様または建築工事責任者にお渡しください。
■施工後、必ず試運転調整をおこなってください。
■この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
■設置工事完了後は、裏表紙の「設置確認チェックリスト」に基づき、必ず確認をおこなってください。
■ヒートポンプ給湯機とバスルームコンディショナーをつなぐ信号線は本体に同梱されていません。

特定保守製品に関するお願い

■本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。
■特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるもの」です。
■付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

もくじ

安全上のご注意 ……2～3
お願い ……4
システム図 ……5
付属品・別売品 ……6
施工手順 ……7
設置前の注意 ……8
ユニットバスへの設置……8～12
換気ボックスの取り付け ……13～15
排気ダクト、吸込ダクトの接続 ……16
吸込グリルの取り付け ……17
給水配管・ドレン配管の工事 ……18～21
電気工事と結線 ……22～25
ヒートポンプ給湯機との信号線接続 …26
脱衣室リモコンの取り付け ……26～28
各種設定 ……29～31
フロントパネルの取り付け ……32
試運転調整 ……33～37
電気回路図 ……38
各部の名前と寸法 ……39
設置確認チェックリスト ……裏表紙

安全上のご注意

■設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ設置してください。
■設置工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、取扱説明書に基づいてお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この工事説明書は、取扱説明書といっしょにお客様で保管いただくように依頼してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	**「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。**
⚠注意	**「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。**

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	**してはいけない内容です。**
❗ ⏚	**実行しなければならない内容です。**

⚠警告

■設置工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「水道法」「各都市の条例」に従って確実におこなう

❗ 設置に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

■浴室内または浴室に隣りあわせている脱衣室などに、CF式、FE式の風呂釜や給湯機が設置してある場合や内釜式風呂を設置した浴室に、本体を取り付けしない

⃠ 禁止

排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化中毒を起こすおそれがあります。

■メタルラス・ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトや配管などが貫通する場合、金属製ダクトや配管などとメタルラス・ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように絶縁処理を施す

❗ 電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

■凍結予防のため冬期は専用漏電ブレーカーを「OFF」にしない

⃠ 禁止

冬期外気温が0℃以下になりますと、水回路の水が凍結し、多大な被害を引き起こすことがあります。

■アース工事をおこなう

⏚ アース線接続

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

■必ず定格電圧で使用する

❗ 守らないと火災・感電のおそれがあります。

■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない

⃠ 禁止

万一ガスが漏れて本体の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

⚠ 警告

■電源コードは確実に接続する

不確実な接続をすると過熱し、火災のおそれがあります。

■本体・排気ダクトを断熱材で覆わない

火災の原因となります。

■漏電ブレーカーを必ず取り付ける

感電の原因となることがあります。

■外気温が－10℃以下になるような地域には設置しない

水配管が凍結し、破損につながります。破損しますと、多大な被害を引き起こすことがあります。

■絶対に分解や修理、改造はしない

火災・感電・けがの原因となります。

■浴室以外には取り付けない。

部屋の温度・湿度が上昇し、温度が上がり過ぎたり、家屋に損傷をおこすなど思わぬ事故となります。

⚠ 注意

■製品本体への給水は下記のものを使用する

・上水
・軟水（120mg/L以下の水）

温泉水、井戸水などのご使用はしないでください。配管内へのスケールによる詰まり、配管の腐食による水漏れなどにより多大な被害を引き起こすことがあります。

■取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する

はめないとけがの原因となります。

■物干しバーは、製品取付面から200mm以上離す

製品に近づけ過ぎると、衣類が変色するおそれがあります。

■温泉水を引き込んだ浴室には設置しない

温泉水や温泉成分を含んだ入浴剤を使用した湯水が本体に付着すると、変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因となり、ひび割れや落下してけがをする原因となります。

■配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう

電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■設置は、重量に十分耐える所に確実におこなう。ホールインアンカーおよび吊りボルトは、必ず本体荷重に耐えられるものを使用し、強度不足の場合には補強する

製品本体の重量が約20kgあります。強度不足や取り付けが不完全な場合は、本体の落下により、けがの原因になります。

■部品の取り付けは確実におこなう

落下により、けがをするおそれがあります。

■脱衣室リモコンは浴室の外に取り付ける

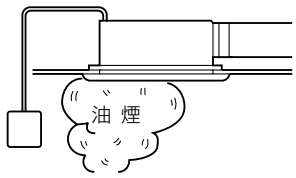
感電のおそれがあります。

お願い

お願い

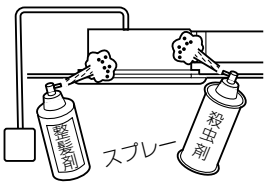
■油煙の発生する場所に取り付けないでください。

故障の原因になります。



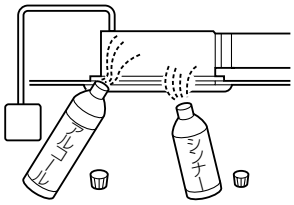
■スプレーを使う場所に取り付けないでください。

故障の原因になります。



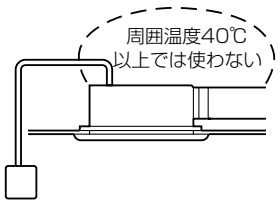
■有機溶剤を使う場所に取り付けないでください。

故障の原因になります。



■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。

モーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。



■専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものをお選びください。

■本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から1m以上離して施工してください。

■本製品は給水、ドレン水（自然勾配）の配管工事が必要なため、事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分に調整してください。

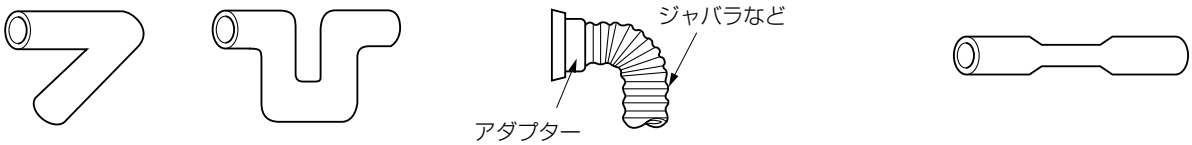
■電源は必ず分電盤の専用漏電ブレーカーに接続してください。

■工事の際に、製品本体内部へ石こうボードの粉などの侵入がないようにおこなってください。

■本製品は樹脂製ですので、ねじ締めの際は締め過ぎて製品を破損させないよう、締付トルクに十分ご注意ください。

■次のようなダクト・配管工事はしないでください。

（1）極端な曲げ　（2）多数回の曲げ　（3）吐出口のすぐそばでの曲げ　（4）接続ダクト径を小さくする



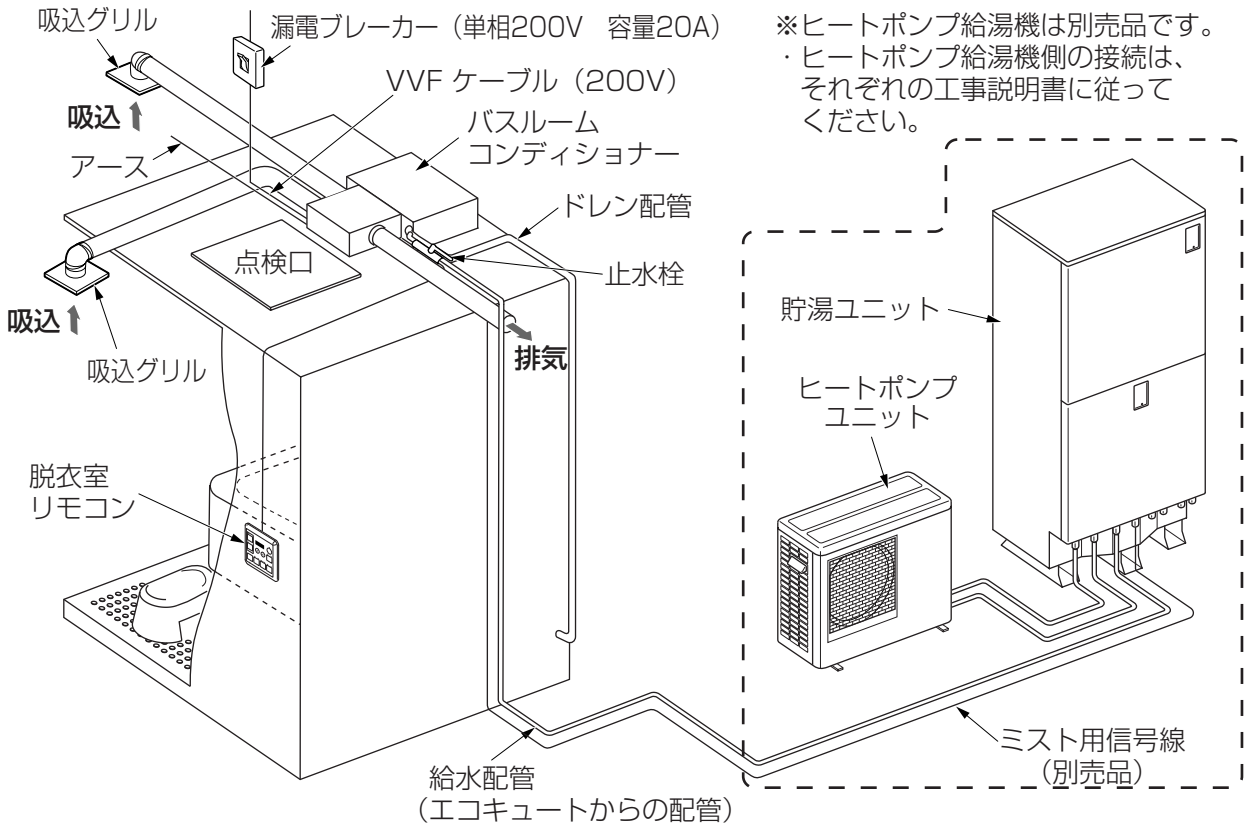
■24時間換気を効率的におこなうために、別売の自然給気口または給気ファンは、外気に面している各部屋に設けてください。

■本製品は一般家庭で使用してください。

■点検口は必ず設置してください。（保守点検できません。）

システム図

（FY−28UST3HPのイメージ図です）



※FY-28US3HPには吸込グリルはありません。

ヒートポンプ給湯機品番（別売品）

	床暖＋ミストフルオート		ミストフルオート		ミストフルオート	
	屋外370L	屋内370L	屋外370L	屋内370L	屋外460L	屋内460L
システム品番	HE−D37AYCS	HE−D37AYMCS	HE−K37AYCS	HE−K37AYMCS	HE−K46AYCS	HE−K46AYMCS
貯湯ユニット	HE−D37AYC	HE−D37AYMC	HE−K37AYC	HE−K37AYMC	HE−K46AYC	HE−K46AYMC
ヒートポンプユニット	HE−PD45AC		HE−PK45AC		HE−PK60AC	

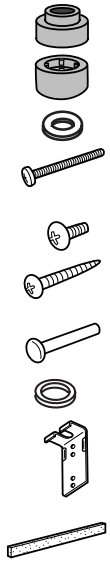
付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定の別売品以外は使用しないでください。

袋A

番号	付属品名	個数
1	防振ゴム（下用凸形）	4
2	防振ゴム（上用平形）	4
3	ワッシャー	8
4	フロントパネル取り付け用ねじ (M4×45)	4
5	吊り枠取り付け用ねじ（M4×6）	8
6	本体取り付け用ドリルタッピングねじ (4×25)	10
7	本体仮固定用ピン	2
8	給水配管接続口パッキン	1
9	吊り金具	4
10	吸込グリル用パッキン（FY-28UST3HPの場合） ※FY-28US3HPにはありません。	2



袋B

番号	付属品名	個 数
11	取扱説明書（必ずお客様にお渡しください）	1
12	工事説明書	1
13	クイックマニュアル	1
14	説明依頼票	1

給排水推奨部材（例）（18ページ参照）

袋C

吸込グリル裏面に付属。※FY-28US3HPにはありません。

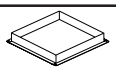
番号	付属品名	個数
15	吸込グリル取り付け用タッピングねじ (4×30) (FY-28UST3HPの場合)……4個×2セット	

脱衣室リモコンセット

番号	付属品名	個数
16	脱衣室リモコン	1
17	脱衣室リモコンコード（5m）	1
18	脱衣室リモコン取り付け用ねじ (M4×35)（リモコン裏面に付属）	4

同梱品

番号	付属品名	個数
19	吊り枠	1
20	吸込グリル（FY-28UST3HPの場合） ※FY-28US3HPにはありません。	2
21	所有者票セット（フロントパネルに貼付）	1

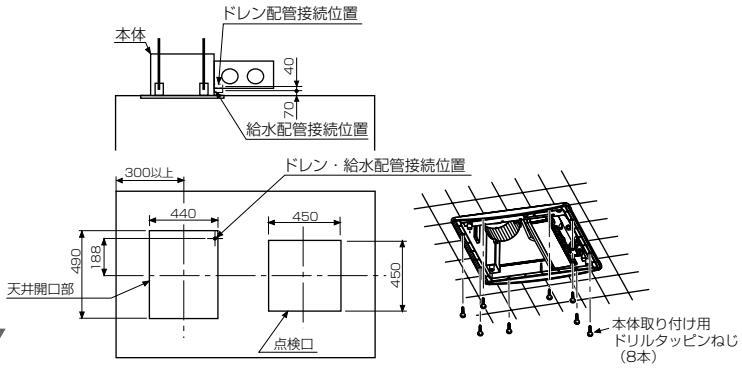


※音声ガイド付浴室リモコン（FY−B28USC1HP）は別売品となります。

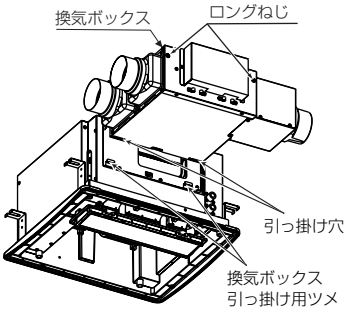
※脱衣室リモコンコード10mは別売品となります。（BV−YB10BLC）

施工手順

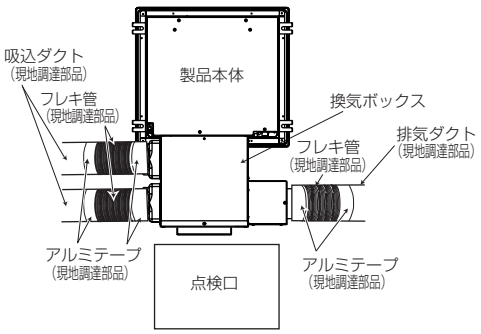
1 ユニットバスへの設置（8~12ページ）



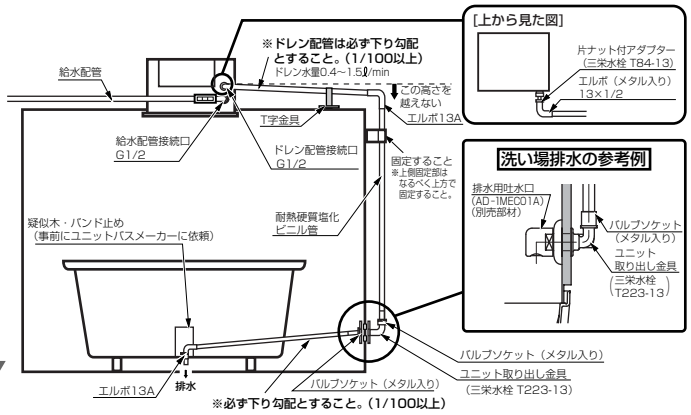
2 換気ボックスの取り付け（13~15ページ）



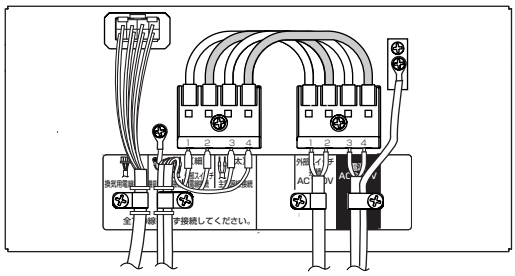
3 排気ダクト・吸込ダクトの接続（16ページ）



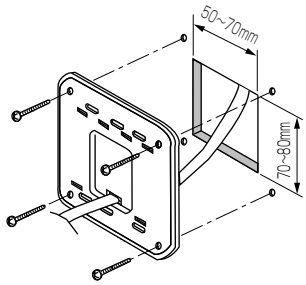
4 給水配管・ドレン配管の工事（18~21ページ）



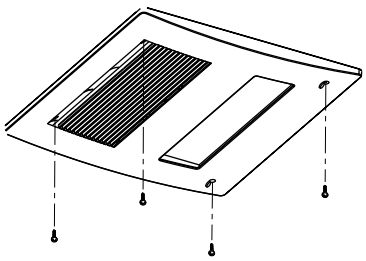
5 電気工事と結線（22~25ページ）



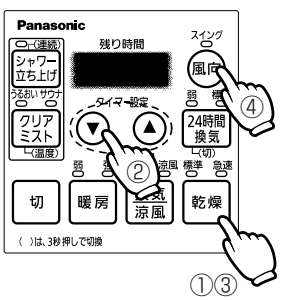
6 脱衣室リモコンの取り付け（26~28ページ）



7 フロントパネルの取り付け（32ページ）



8 試運転調整（33~37ページ）

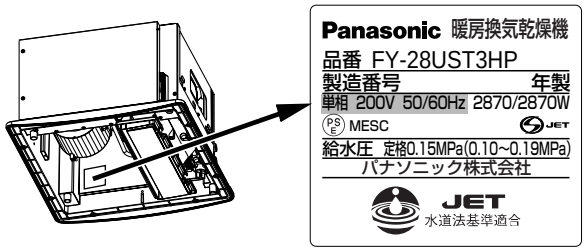


設置前の注意

設置する機器の確認

銘板(ラベル)に表示してある電源(電圧・周波数)に適合していることを確認してください。

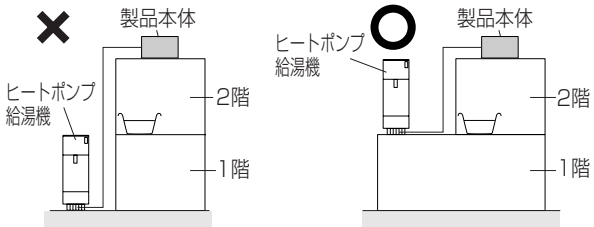
(FY-28UST3HPの場合)



ユニットバスへの設置

設置場所の確認

- ●本製品は**1.5坪タイプのユニットバス**サイズまで設置可能です。
- ●ユニットバスへの設置としてください。
  （壁面がタイルや大理石張りの場合および在来工法の浴室には設置できません）
- ●浴室内の温度が10℃以上確保できるユニットバスルームへの設置をおすすめします。
  温度が低い場合、ミスト運転の立ち上がり時間が長くなります。
- ●浴室は断熱材付をおすすめします。（戸建住宅の場合は断熱材付きとしてください）
  （断熱材がなく室温が低い場合、浴室内の温度が上がらないことがあります）
  ※石膏ボードは、断熱材とはみなしません。
- ●浴室の天井はフラットなタイプをお選びください。天井が傾斜している、またはドーム形状になっている場合には設置できない場合があります。フラットな天井以外のユニットバスに設置する場合は事前にユニットバスメーカーに寸法を確認してください。
- ●天井中央部の補強用リブは **(天井厚み＋リブ高さ)＜ 50mm** としてください。
  （配管が取り付けできない場合があります）
- ●浴室の**ドアは給気口付き**のものをご使用ください。また給気口は下部にあるタイプのものをご使用ください。
- ●天井材の強度が低い場合は、開口部の補強をおこなってください。
  （強度についてはユニットバスメーカーに確認してください）
- ●プラスチック一体成型などの天井で、天井コーナーに大きなRの付いたタイプは、フロントパネル、本体などの取り付けができない場合がありますので、事前にユニットバスメーカ ーとご相談ください。
- ●本製品使用によりユニットバス内の湿度は100%程度から10%程度まで変化し、内壁面の温度も部分的に50℃弱まで上昇します。接着タイプのタイル貼りユニットバスの場合は、タイルのはく離強度について事前にユニットバスメーカーにご相談ください。



- ●ヒートポンプ給湯機との接続配管は15m6曲り以内としてください。また、製品本体はヒートポンプ給湯機設置階より上の階への浴室には設置できません。ただしヒートポンプ給湯機と同一階の設置は可能です。
- ●物干しバー収納用受部材の位置に補強板を裏打ちしてください。
- ●浴室以外（脱衣室など）には設置しないでください。
- ●浴室の天井高さは**2200mm以下**としてください。
- ●浴室に窓を設ける場合は窓枠開口寸法**0.7m²以下**としてください。
  ただし、複層ガラスの場合（仕様：空気層6mm以上）は窓枠開口寸法**1m²以下**としてください。
  0.7m²以下でもガラスルーバー窓は設置できません。
  （十分な暖房性能および、クリアミスト性能が得られないおそれがあります）
- ●ドレン配管を通す側のユニットバスから壁面までの距離は、65mm以上必要です。
- ●他の暖房器具との併用使用は避けてください。十分な加湿が得られなくなることがあります。

⚠注意

■製品本体への給水は下記のものを使用する

- ・上水
- ・軟水（120mg/L以下の水）

温泉水、井戸水などのご使用はしないでください。配管内へのスケールによる詰まり、配管の腐食による水漏れなどにより多大な被害を引き起こすことがあります。

消防法 規制関連

本製品は消防法基準適合品です。（平成14年消防庁告示第1号）
地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。
本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております。

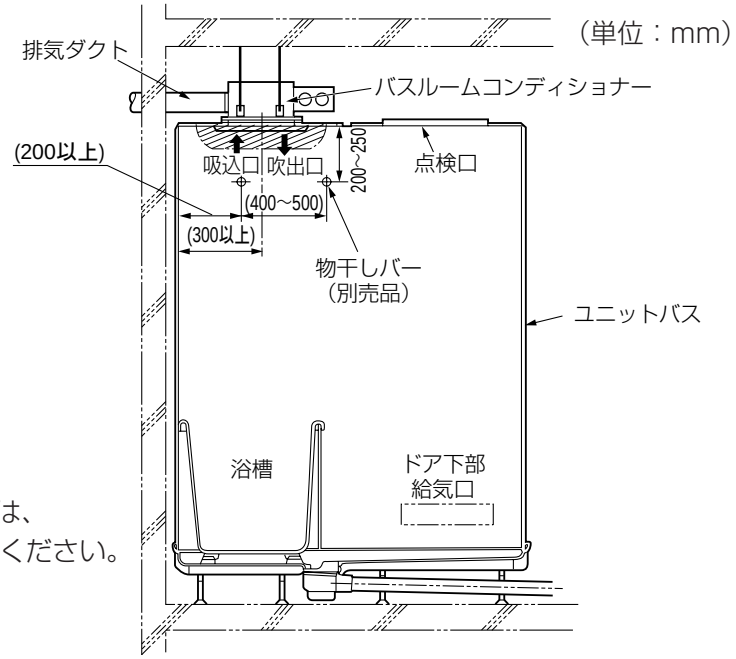
消防法 基準適合

排気ダクト

○不燃材料をご使用ください。
○専用としてください。

○フロントパネルから200mm未満の範囲に造営材など（衣類および物干しバーを含む）を設置しないでください。

■天井裏断熱材について
バスルームコンディショナーの周囲には、天井裏の断熱材は100mm以上離してください。



工事業者との事前調整

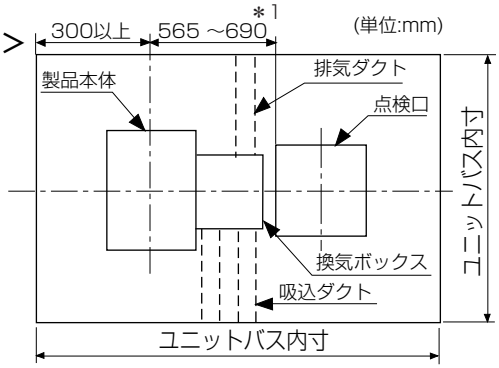
●給水配管、ドレン配管の逃し寸法、ユニットバスの使用温度範囲について、事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分調整してください。
●給水配管逃し位置先端に、メンテナンス用の止水栓を必ず取り付けるよう依頼してください。
※止水栓を逆止弁付きにするかどうかは、各市町村に確認してください。
●給水圧が0.10～0.19MPa(1.0～1.9kgf/cm²）の範囲内であるか確認してください。
（給水圧が0.19MPa(1.9kgf/cm²)を超える場合はの減圧弁を取り付けるように依頼してください。
※給水圧が高いと、水滴滴下や能力不足等の原因となります。
また給水圧が低いと、能力不足等の問題が発生するおそれがあります。
●冬期外気温が0℃以下になりますと、給水配管・ドレン配管の水が凍結し、破損することがあります。
破損しますと、水漏れにより多大な被害を引き起こしますので、必ずシステムに適合した凍結予防策を実施してください。
●給水配管工事終了後、管の洗浄を必ず実施してください。

ユニットバスへの設置（続き）

製品本体の設置位置

浴室天井開口位置と寸法

<図1>

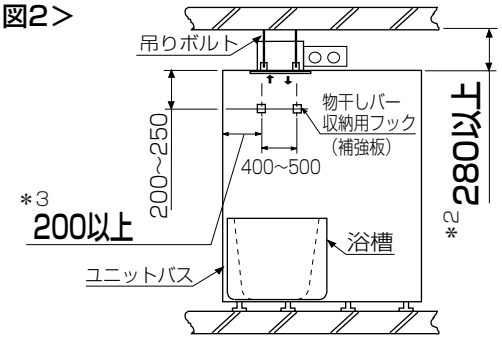


<図1>

※排気ダクト などは点検口の開口部を避けて配管してください。メンテナンス作業に支障をきたします。
（イラストはFY-28UST3HPタイプを示しています）

＊1 製品本体中心から点検口までの＊1寸法は取り付けおよび保守作業上、左記寸法を確保してください。また＊1寸法は690mm以上になると、配管接続が困難になります。

<図2>



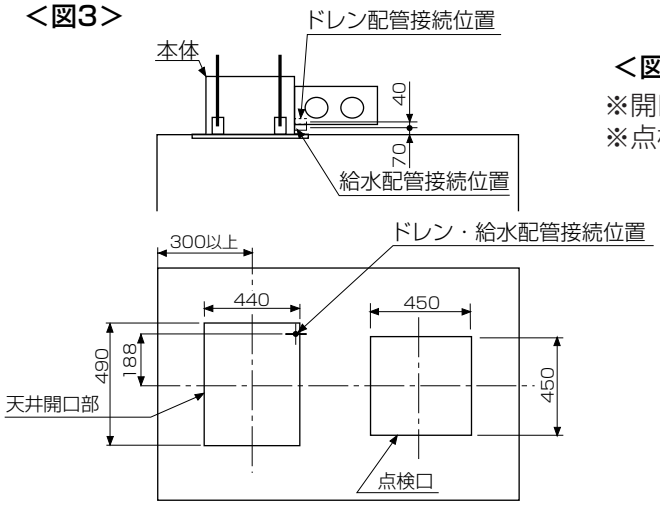
<図2>

＊2 本製品を設置するために天井裏の高さは280mm以上必要です。この範囲に障害物がないことを確認してください。

＊3 ユニットバス壁面から、物干しバーまでの距離は200mm以上とってください。ハンガーが吊せなくなるおそれがあります。

※物干しバー、排気ダクトなどはバスルームコンディショナーの付属品ではありません。

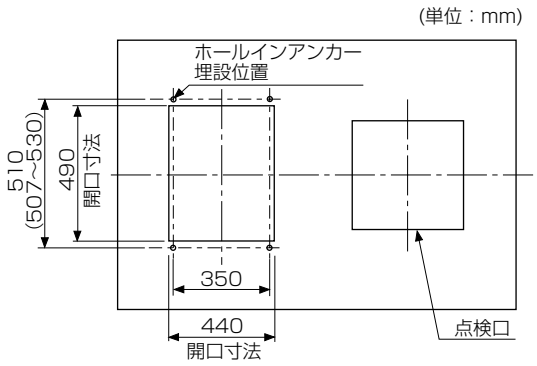
<図3>



<図3>

※開口寸法（440×490mm）は浴槽の中心に開けてください。
※点検口は450×450mmの大きさを確保してください。

吊りボルト位置



ホールインアンカーは、浴室の上部スラブ面左図の位置に埋設してください。

※ユニットバスの設置位置をよく確認してからホールインアンカーの位置を決めてください。

⚠注意

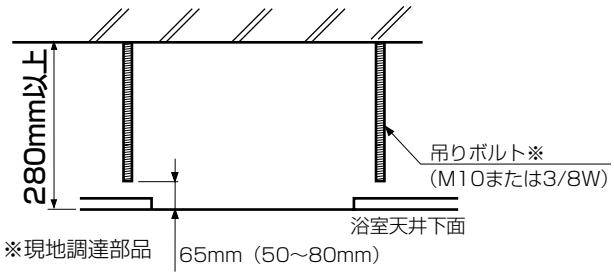
■ホールインアンカーおよび吊りボルトは、必ず本体荷重に耐えられるものを使用する

製品本体の重量が約21kgあります。
けがや浴室の破損の原因となります。

吊りボルトの長さ

ホールインアンカーに吊りボルトを**傾きがないよう**にねじ込んでください。

※吊りボルトの先端部が天井下面を基準にして65mmになる位置に調節してください。
吊りボルトが短い場合には本体の取り付けができなくなります。

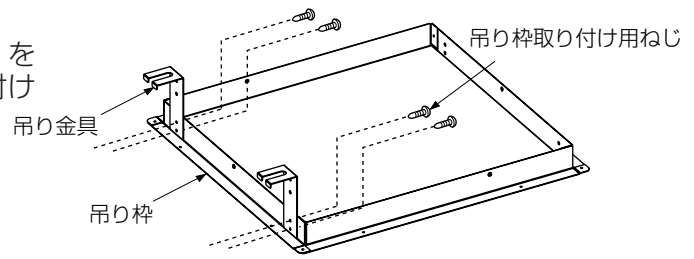


お願い

・ボルト・ナットはステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。また寸切りしたボルトなどの切断面にも防錆処理をおこなってください。ただしステンレス製の切断面は除きます。
・製品本体吊り位置と吊りボルトの位置がずれないようにしてください。
・天井に吊りボルトを固定するとき、製品重量に耐えられるようアンカー強度に注意してください。
・吊りボルトは垂直にねじ込みしてください。また、吊りボルトを途中で曲げないようにしてください。

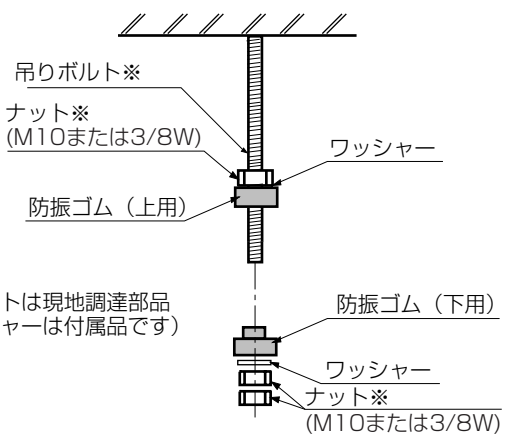
吊り枠の吊り込み（仮吊り）

①吊り枠の１方向側にあらかじめ吊り金具（2個）を付属の吊り枠取り付け用ねじ（各2本）で取り付けます。



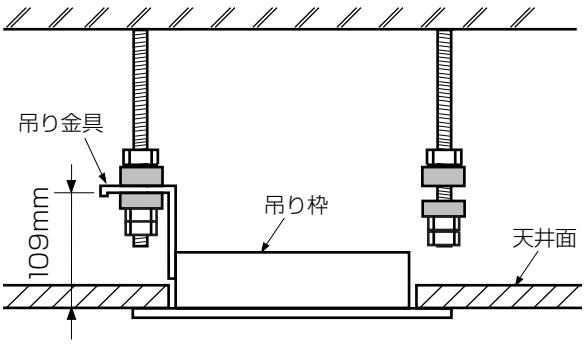
②吊りボルト（4本）にナット、ワッシャー、防振ゴム（上用）を取り付け、下側から防振ゴム（下用）、ワッシャー、ナットの順番に仮止めします。

※防振ゴム(上用)は平形のものです。
※防振ゴム(下用)は凸形のものです。
※ダブルナット固定を推奨します。

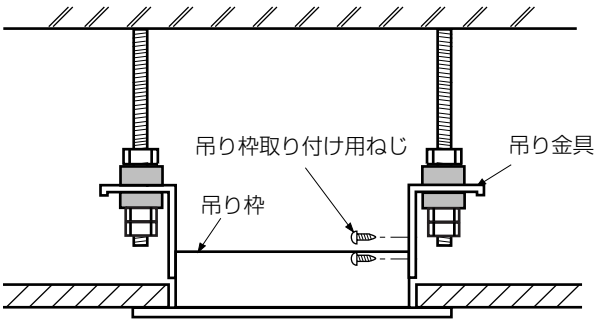


ユニットバスへの設置（続き）

③吊り枠を天井に取り付けます。
あらかじめ取り付けた吊り金具を防振ゴム（上用）と、防振ゴム（下用）の間に挟み、ナットで仮止めします。
※防振ゴム（上用）の下面が浴室天井下面より約109mmになるようにしてください。
※ダブルナット固定を推奨します。

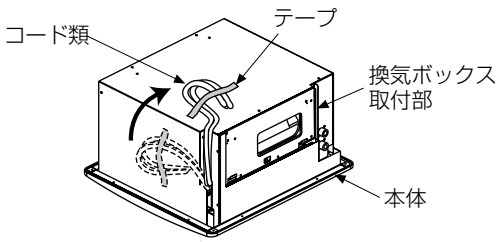


④反対側の吊りボルト（2本）に残りの吊り金具（2個）を付属の吊り枠取り付け用ねじ（各2本）で取り付けます。
ナットを調整し、吊り枠が天井面に当たる位置にナットを増し締め付け固定します。
※天井との間にすき間があると天井裏への湿気漏れの原因となります。
※ダブルナット固定を推奨します。

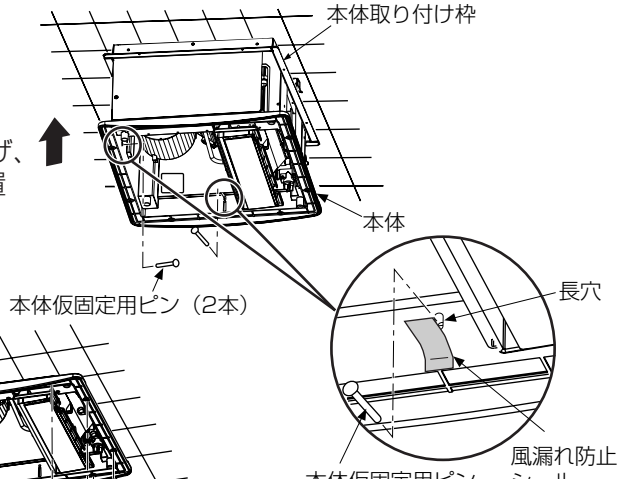


製品本体の設置

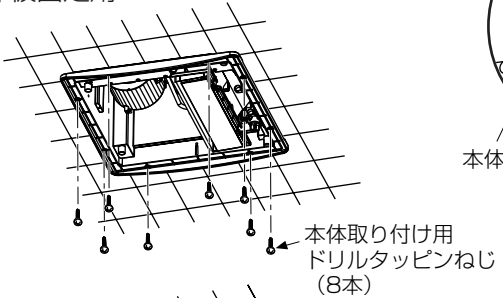
①本体側面にテープ止めされているコード類のテープを取りはずし、本体の天面にテープで仮固定します。
※本体側面にコード類が付いていると、本体を天井に取り付ける際に吊り枠に引っ掛かり、設置することができません。
※天井裏高さが290mm以下の場合、天面にコード類は仮固定せず、先にコード類を天井裏へ導いてから、製品本体を取り付けてください。



②換気ボックス取付部を点検口側にして本体を天井へ吊り上げ、本体内側から付属の本体仮固定用ピン（2本）で指定の位置に差し込み仮固定します。
※本体仮固定用ピンと本体取り付け枠が仮固定されることにより、本体を仮吊りすることができます。
※風漏れ防止シールをはがさないように、本体仮固定用ピンを差し込んでください。（2か所）



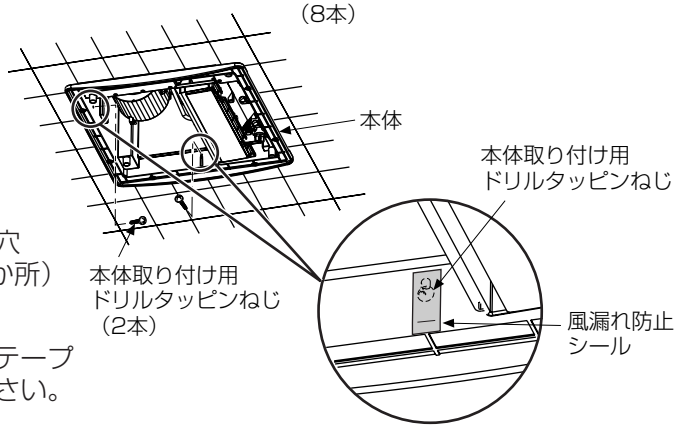
③本体を吊り枠に付属の本体取り付け用ドリルタッピンねじ（8本）で取り付けます。
※本体はドレン勾配が確実に取れるように水準器などを使用して必ず水平に設置してください。



④本体仮固定用ピン（2本）を取りはずし、付属の本体取り付け用ドリルタッピンねじ（2本）で取り付けます。
※製品本体と吊り枠を確実に固定し、製品の落下防止のために必ず取り付けてください。

⑤本体取り付け用ドリルタッピンねじのあとの長穴を風漏れ防止シールでふさいでください。（2か所）

⑥点検口より本体の天面に仮固定したコード類のテープをはずし、点検口側に引き伸ばしておいてください。



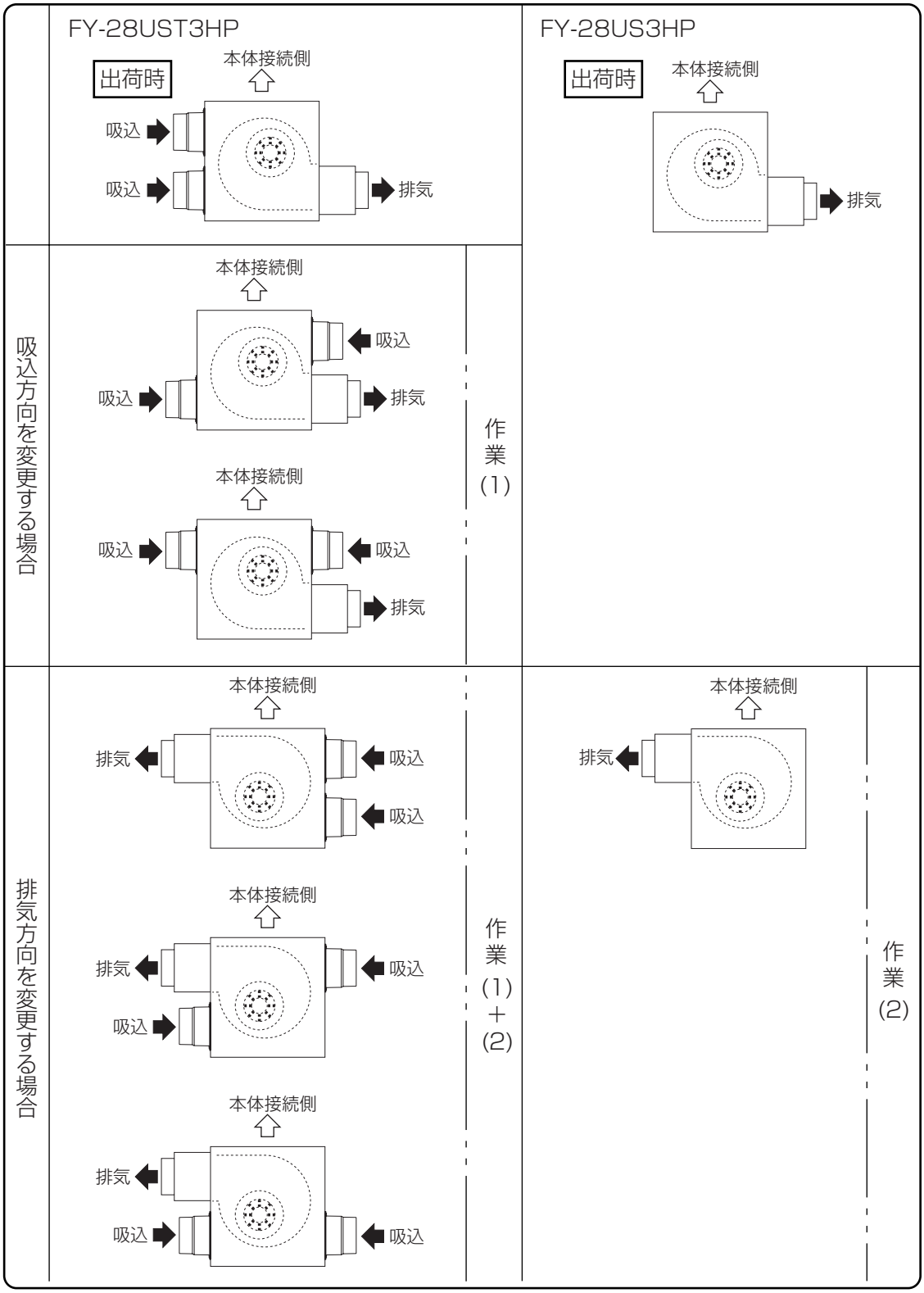
換気ボックスの取り付け

1. 換気ボックスの準備 **(図は換気ボックスを上から見ている方向で示しています。)**

①吸込方向および排気方向を変更する場合は下図を参考にしてください。
変更の手順は14ページ以降を参照してください。

お願い

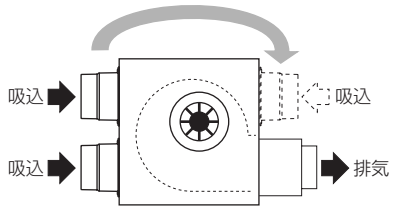
・排気アダプターは、はずさないでください。風漏れの原因になる場合があります。



② ①で排気口、吸込口の方向を確認したあと、以下の要領で変更をおこなってください。
※出荷時の方向で取り付け可能な場合は、**2.換気ボックスの取り付け（15ページ）**から作業をおこなってください。

換気ボックスの取り付け（続き）

(1)吸込方向を変更する場合（FY-28UST3HPタイプ）



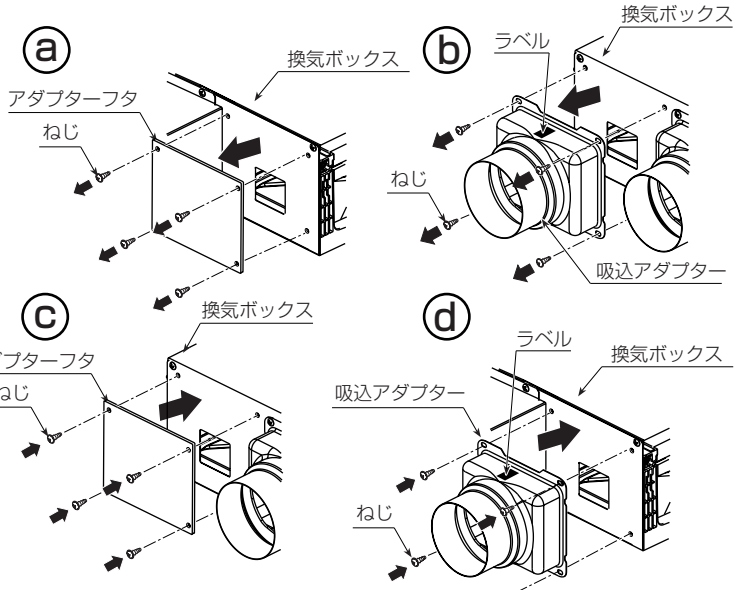
ⓐ アダプターフタのねじ（4本）を
はずしてアダプターフタを換気ボックス
よりはずします。

ⓑ 吸込アダプターのねじ（4本）を
はずして吸込アダプターを換気ボックス
よりはずします。

ⓒ ⓐではずしたアダプターフタをⓑで
はずした開口部にねじ（4本）で取り
付けます。

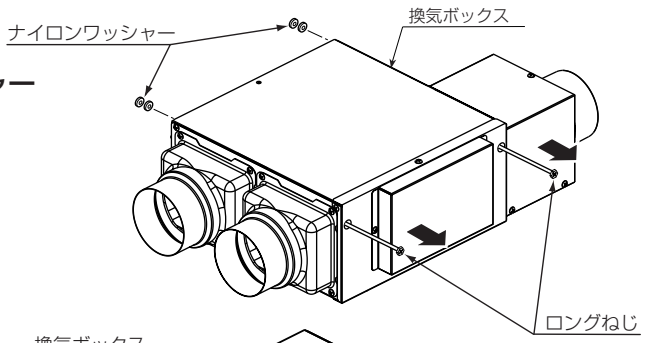
ⓓ 同様にⓑではずした吸込アダプターを
ⓐではずした開口部にねじ（4本）で
取り付けます。

※必ずラベルの貼ってある面を
上面にして取り付けてください。

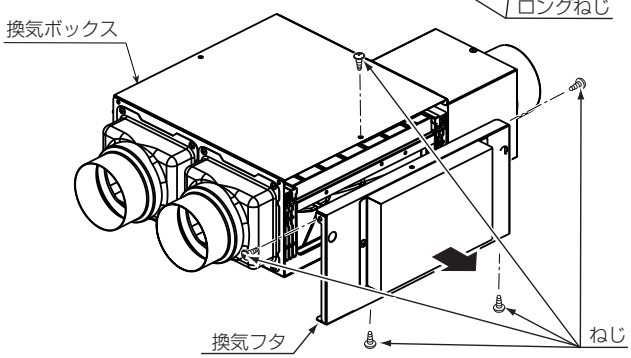


(2)排気方向を変更する場合（イラストはFY−28UST3HPタイプを示しています）

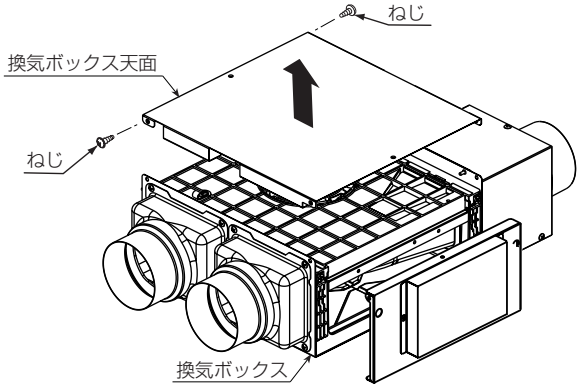
①換気ボックスからロングねじ（2本）をはずします。
（このとき、ロングねじについているナイロンワッシャー（各2個）をなくさないよう注意してください）



②換気フタを固定しているねじ（5本）をはずし、
換気フタを換気ボックスからはずします。



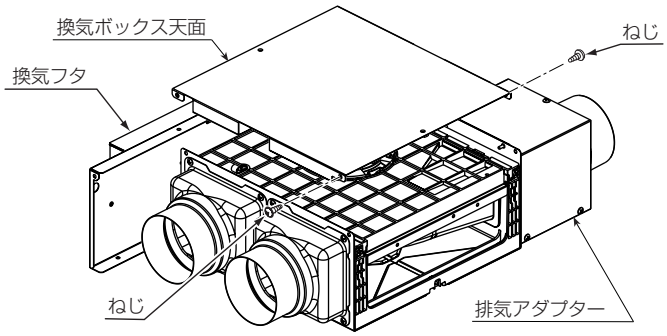
③換気ボックス天面を固定しているねじ（2本）を
はずし、換気ボックス天面を換気ボックスから
はずします。



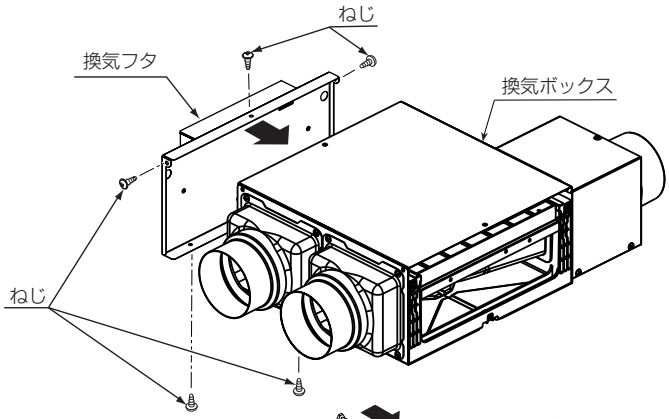
④換気フタを換気ボックスの反対側に移動し、
換気ボックス天面を取りはずしたねじ（2本）で
固定します。
※ファンやファンモーターは換気ボックスから
はずして反転する必要はありません。
反転した場合は、排気できなくなります。

お願い

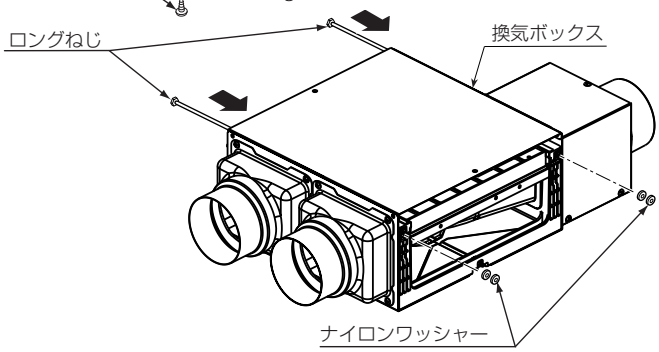
・排気アダプターは、はずさないでください。
風漏れの原因になる場合があります。



⑤換気ボックスに換気フタを取りはずしたねじ
（5本）で固定します。



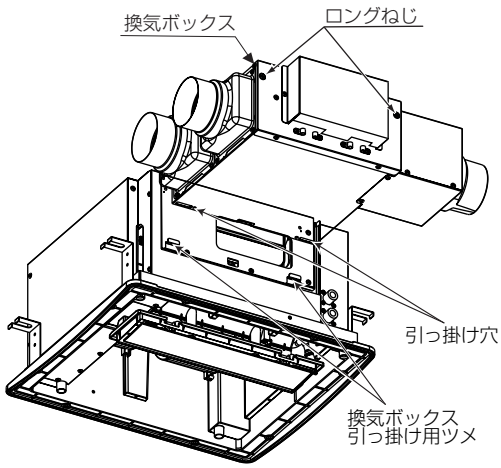
⑥ロングねじを換気ボックスに取り付けます。
取り付けるとき、ナイロンワッシャーを元の
位置に取り付けます。



2. 換気ボックスの取り付け

① 点検口から換気ボックスを天井裏に上げてください。
② 製品本体側面に設けた換気ボックス引っ掛け用ツメ
（2か所）に換気ボックスの下端の引っ掛け穴を引っ掛け、
換気ボックス上側のロングねじ(2本)で製品本体にねじ込み、
固定してください。

（イラストはFY-28UST3HPタイプを示しています）

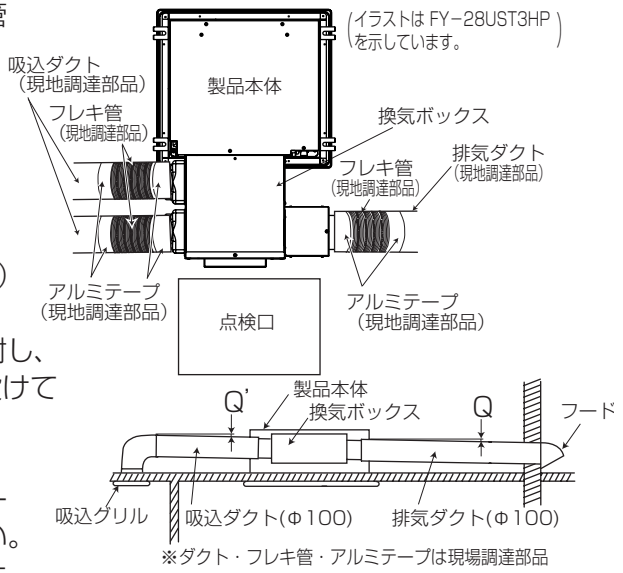


確　認

・換気ボックスを製品本体に取り付けた状態で製品本体
および換気ボックスが水平に設置されているか確認して
ください。水平に設置されていないと、ドレン水が換気
ボックスにたまる原因になります。
・天井補強用リブに接触していないことを確認してください。
補強用リブに接触していると、異常音の原因となります。
接触している場合は下記を確認してください。
①ロングねじは確実に固定されていますか。
②製品本体の吊り込みは確実ですか。
（「製品本体の設置」（12ページ）を参照）
③浴室の天井に変形などがありませんか。

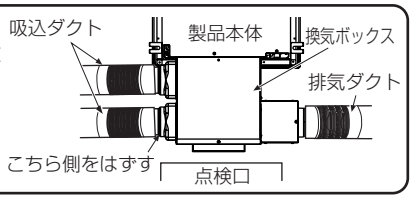
排気ダクト、吸込ダクトの接続

① 排気ダクト、吸込ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。（メンテナンス作業ができません）
② 排気ダクトおよび吸込ダクトと換気ボックス（またはアダプター）との接続部は必要に応じてフレキ管を使用してください。
（排気ダクトは不燃材を使用してください）
③ 排気ダクトは雨水や結露水が本体内に逆流しないよう傾斜角度Qを設けてください。（Q＝1/100 ～ 1/50）
④（FY-28UST3HPタイプの場合）
吸込ダクトは結露水が逆流しないように吸込グリル側に対し、換気ボックス側の方が低くなるように傾斜角度Q’を設けてください。（Q’＝1/100 ～ 1/50）
⑤ 接続部分のフレキ管は急激に曲げないでください。
換気ボックスの排気アダプターに付いているシャッターが排気ダクトに引っ掛からないことを確認してください。
⑥ ダクトと換気ボックス（またはアダプター）との接続はアルミテープを全周に巻き、漏れのないように固定してください。
また、排気アダプターは接続部以外も全周アルミテープを巻いてください。



お知らせ

・吸込ダクトが2本並んでいる場合、アルミテープを巻くのが困難なときは点検口から見て手前側のアダプターを一度はずし、奥側のダクトを固定したあと、再び手前側のアダプターを取り付けてダクトを接続すると、作業がしやすくなります。



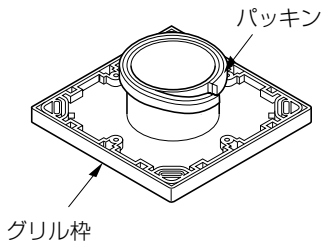
⑦ **屋外の換気口（フード）はステンレス製のものをお使いください。**
（参考：パナソニック エコシステムズ(株)製　FY−MFX043、FY−MCX042（防虫網なし））
防虫網など目詰まりしやすい屋外フードを使う場合は、定期的に掃除が必要です。
掃除ができるように配慮した位置に取り付けてください。

お願い

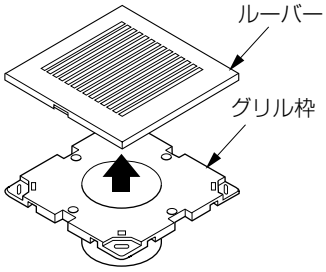
・排気ダクト、吸込ダクトと製品本体との接続はリベットおよび接着剤を使用しないでください。
アダプター内のシャッターが引っ掛かったり、製品のメンテナンスができなくなる可能性があります。
・排気アダプターははずさないでください。風漏れの原因になる場合があります。
・脱衣室・トイレの吸込グリルは、天井の中央部に取り付けてください。
・他の機器と排気ダクトを共有できません。排気ダクトへの接続は単独としてください。

吸込グリルの取り付け （FY−28UST3HPの場合）

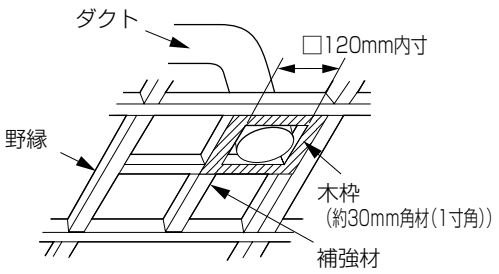
① 付属のパッキンをグリル枠に貼り付ける。



② ルーバーをグリル枠から取りはずす。

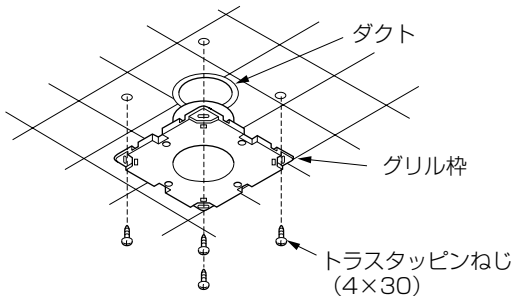


③ ダクトの外周に木枠を作り、野縁に取り付ける。

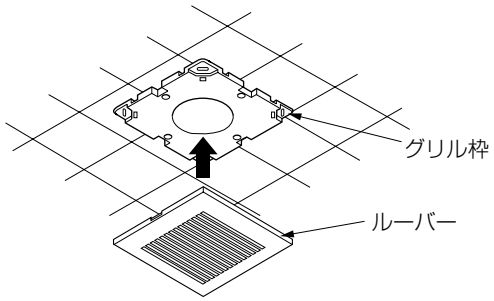


④ 天井材をはり付け、天井材にダクトに適した穴をあけ、グリル枠をダクトに挿入し、付属のトラスタッピンねじ（4×30）4本で取り付ける。
なお、ダクト端面は天井材にあわせる。

■ パッキンがはがれないように、グリル枠をまわしながら挿入してください。



⑤ルーバーを押し上げてグリル枠に取り付ける。



給水配管・ドレン配管の工事

給水配管・ドレン配管工事は各市町村の条例に従ってください。

お願い

・事前にユニットバス天井裏に給水配管が設置されるように建築側およびユニットバスメーカーとの調整をおこなってください。
・配管接続に関しては、バスルームの施工説明書も併せて確認してください。
・給水配管工事は、水道事業者指定工事店に依頼してください。
・上水を必ず使用してください。温泉水、井戸水は使用しないでください。
・本製品の給水圧の適用範囲は0.10～0.19MPa（1.0～1.9kgf/cm²）です。適用範囲を越える場合や、他の水栓などの開閉時に水道配管の水撃（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は、減圧弁を取り付けてください。
・給水配管材料は、各市町村水道局（課）承認のものを使用してください。
・給水配管逃し位置先端に、メンテナンス用の止水栓を必ず取り付けてください。
（止水栓を逆止弁付きにするかどうかは、各市町村に確認してください）
・専用エコキュートからの給水断熱と制御のため、本体と給水配管の接続は、指定の”ミスト用配管―給水セット”を使用してください。
・製品本体と給水配管を接続する前に、止水栓を開けて容器などに水を出し、給水配管内のゴミ、砂、切り粉などを流してください。
・必要に応じて給水配管・ドレン配管についても保温してください。（凍結予防のため）
また、保温工事がおこなわれていても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。
凍結のおそれのある地域では、水道用凍結予防ヒーターによる加温が必要です。

●給排水 推奨部材（例）

		現地での調達の場合	別売部材を使用の場合
給水セット		断熱材10mm付き温水用架橋PE管と下記ミスト用信号線が必要です。 右記のミスト用配管－給水セットを使用してください。	●ミスト用配管－給水セット ・給水配管長 8m　AD-HE1MS08 ・給水配管長 15m　AD-HE1MS15
ドレン配管・給排水セット	浴槽バス排水	耐熱硬質塩化ビニル管（13A） エルボ（13A） バルブソケット（メタル入り）（13A） 片ナット付アダプター ユニット取り出し金具	●ミスト用配管－給排水セット（浴槽バス排水用） ・給水配管長 8m　AD-HE1MB108 ・給水配管長 15m　AD-HE1MB115 ※ユニットバスから壁面まで65mm以上必要です。 ※ユニットバス壁パネルの適応厚さ18mm以下。 ※給水セットも含まれます。
	洗い場排水	耐熱硬質塩化ビニル管（13A） エルボ（13A） バルブソケット（メタル入り）（13A） 片ナット付アダプター ユニット取り出し金具 排水用吐水口（AD－1MEC01A）	●ミスト用配管－給排水セット（洗い場排水用） ・給水配管長 8m　AD-HE1MB208 ・給水配管長 15m　AD-HE1MB215 ※ユニットバスから壁面まで65mm以上必要です。 ※ユニットバス壁パネルの適応厚さ13mm以下。 ※給水セットも含まれます。
	i－U用	断熱材10mm付き温水用架橋PE管と下記ミスト用信号線が必要です。 右記のミスト用配管－給水セットを使用してください。	●ミスト用配管－給排水セット ・給水配管長 8m　AD-HE1MB508 ・給水配管長 15m　AD-HE1MB515 ※ユニットバスから壁面まで65mm以上必要です。 ※給水セットも含まれます。

※給水セット、給排水セットにはミスト用信号線が同梱されています。

ミスト用信号線

10m	AD－HE1ML10
17m	AD－HE1ML17

※AD－品番は、パナソニックホームエンジニアリング（株）システム部材開発センター取り扱い品です。

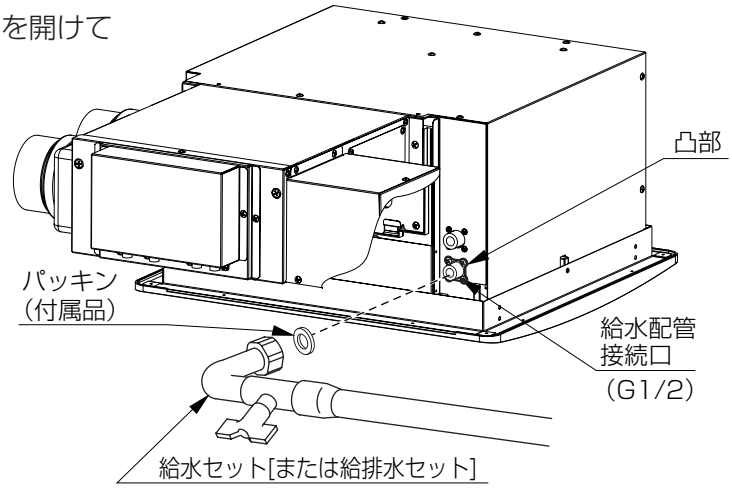
1. 給水配管工事

① 給水配管と製品本体とを接続する前に、給水元栓を開けて水受け容器などに水を出し、給水配管内のゴミ・砂・切り粉を流してください。

② 製品本体の給水配管接続口にパッキン・給水セットを取り付けてください。

※付属のパッキンをご使用ください。

※給水管接続口根元周囲に凸部があります。給水管と排水管を間違えないように接続してください。



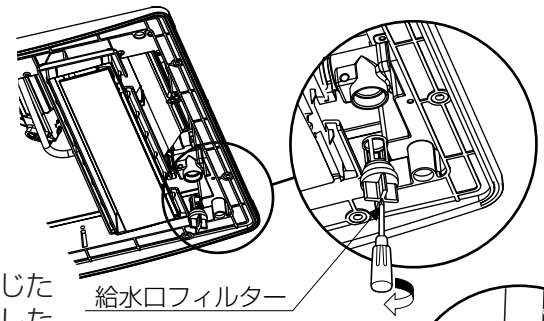
AD−HE1M108P（115P）

※上記、給水セットにはパッキン（付属品）も同梱されています。

お願い

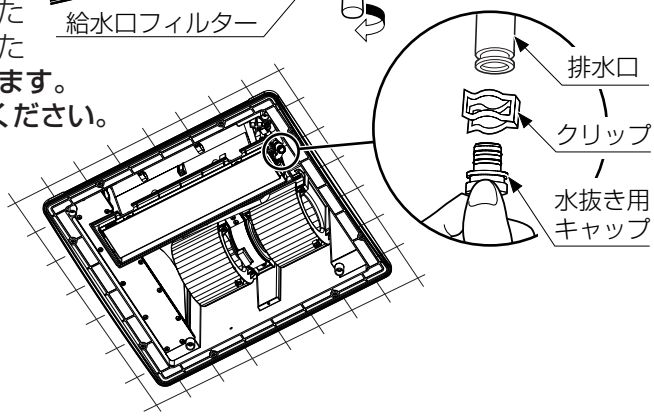
- **給水配管は、点検口の上を通さないでください。（点検作業をおこなうとき、支障をきたします）**
- 排気ダクト、吸込ダクトに当たらないようにしてください。振動・騒音の原因となります。
- 給水配管は固定してください。振動・騒音の原因となります。
- 配管は無理に曲げないでください。水漏れの原因となります。
- 万一のために、止水栓の位置はお客様にお伝えください。

③ 通水テストを必ずおこない、止水栓を閉じてからドライバー等で給水口フィルターを取りはずし、給水口フィルターを掃除してください。
（内部の残水を排出するため、給水口フィルターは、必ず取りはずしてください）



④ クリップをはずし、水抜き用キャップを取り、水抜きをおこないます。

（注）水抜きキャップを取りはずす際、止水栓を閉じたあとでも残水圧によってクリップを取りはずした瞬間に**水抜き用キャップが飛び出す場合があります。水抜き用キャップの真下には絶対に立たないでください。また、水抜き用キャップは必ずしっかりと手でつまみながらクリップを取りはずしてください。**



⑤ 水が抜けたら、給水口フィルターおよび水抜き用キャップを取り付けてください。

※クリップは取り付けたあと、必ず回転させて確実にはまっていることを確認してください。

給水配管・ドレン配管の工事（続き）

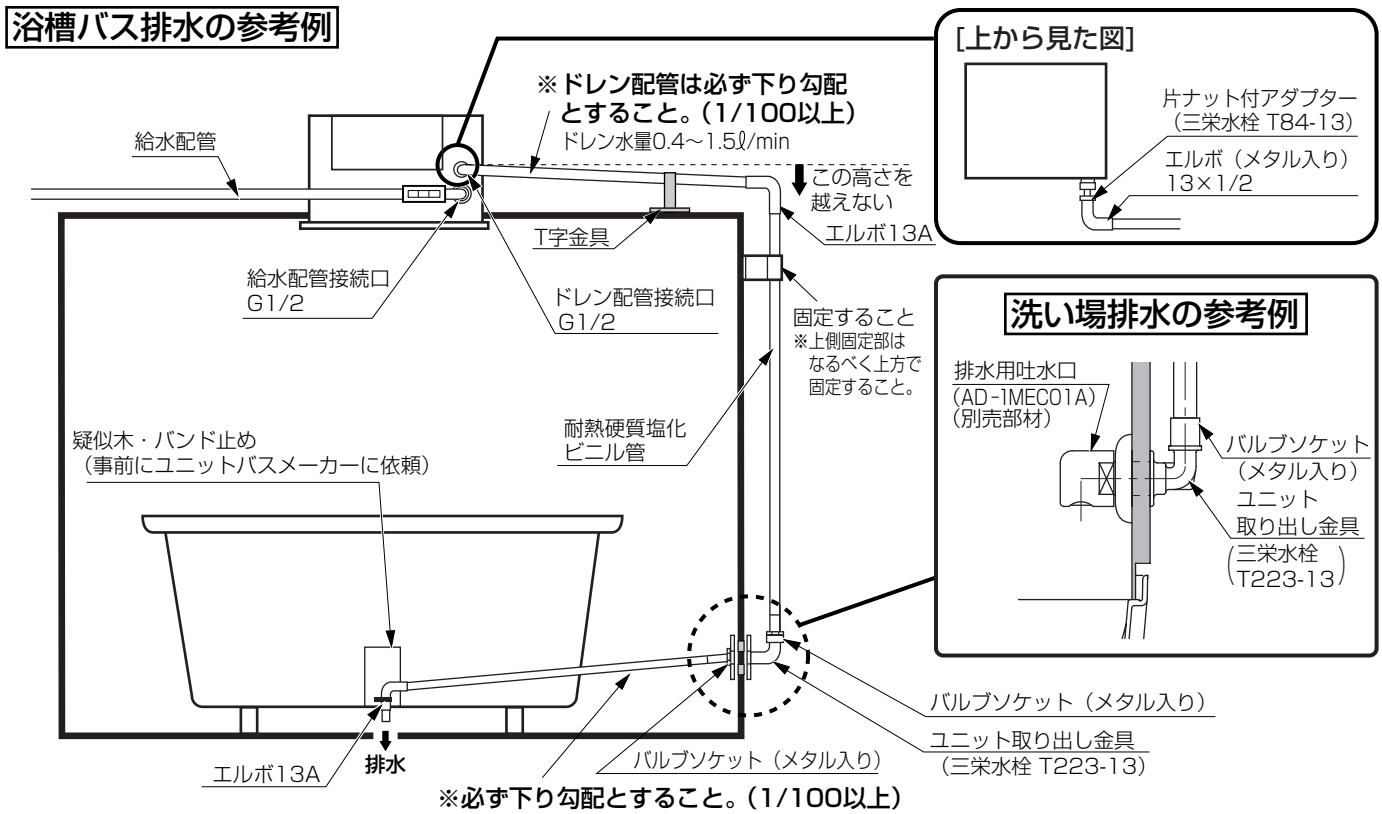
2. ドレン配管工事

・本製品は、ドレン配管工事が必要です。ドレン水量0.4～1.5ℓ/min
・ドレン配管内部を流れるドレン水温度は約10～50℃になります。
・ドレン配管は耐熱硬質塩化ビニル管または樹脂管（架橋ポリエチレン）を使用してください。
（運転状態により、ドレン配管内に約60℃の温風が流れます）
屋外等にドレン配管を施工する場合は、経年劣化を考慮した配管を使用してください。
・ユニットバスメーカー先行工事の場合は、ユニットバスメーカーとよく打ち合わせをしてください。
・先方工事でドレン配管と接続する場合は工事業者とよく打ち合わせをしてください。
・ドレン水は自然排水です。ドレン配管は必ず下り勾配となるように、T字金具等を使用して施工してください。ドレン配管が下り勾配ではない場合、ドレン水が流れず運転できないおそれがあります。また、異常音が発生する場合があります。（樹脂管を使用する場合には配管の巻きぐせに注意してください）
・必要に応じてユニットバス天井・壁に配管を固定できるよう事前にユニットバスメーカーと打ち合わせをしてください。

お願い

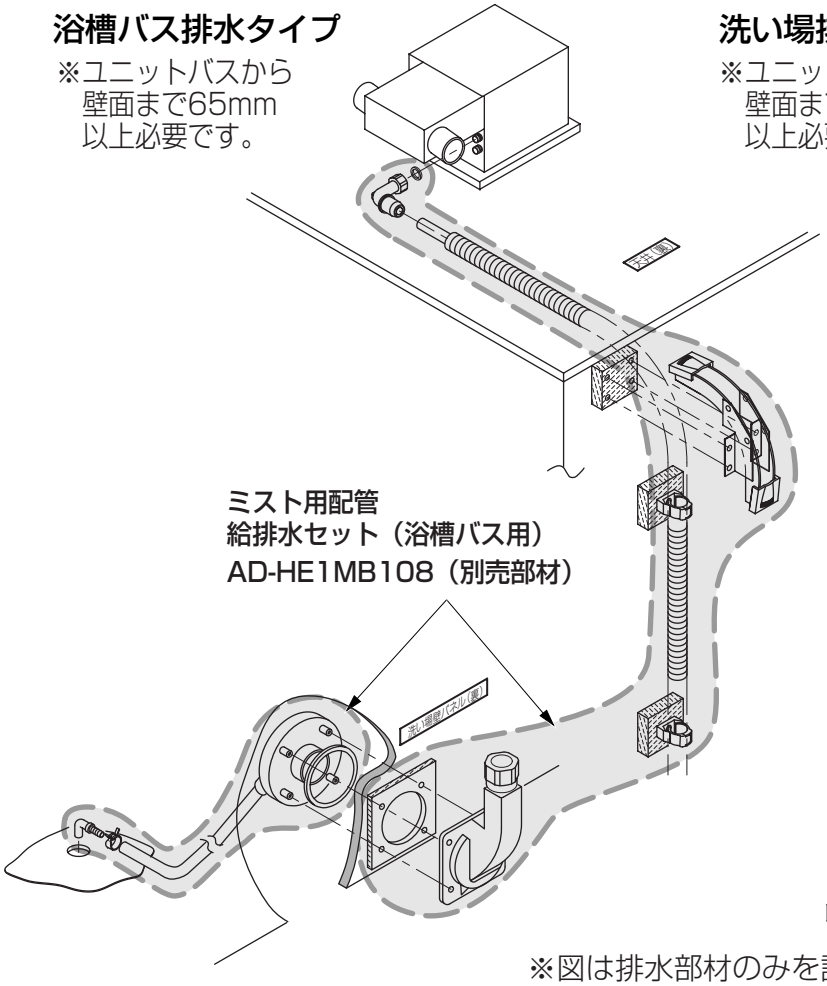
・ドレン配管は常に下り勾配（1/100以上）とし、途中山越えやトラップを作らないようにしてください。
（排水異常：H42）の原因となります。
・ドレン配管は、点検口の上を通さないでください。
・ドレン配管は、排気ダクトに当たらないようにしてください。
・ドレン配管を固定してください。
・ドレン配管は無理に曲げないでください。
・排水は間接排水としてください。
・浴槽下、および洗い場排水以外の排水をおこなう場合は、建物内部に湿気が漏れないように屋外での排水をおこなうようにしてください。

●ドレン工事の参考例



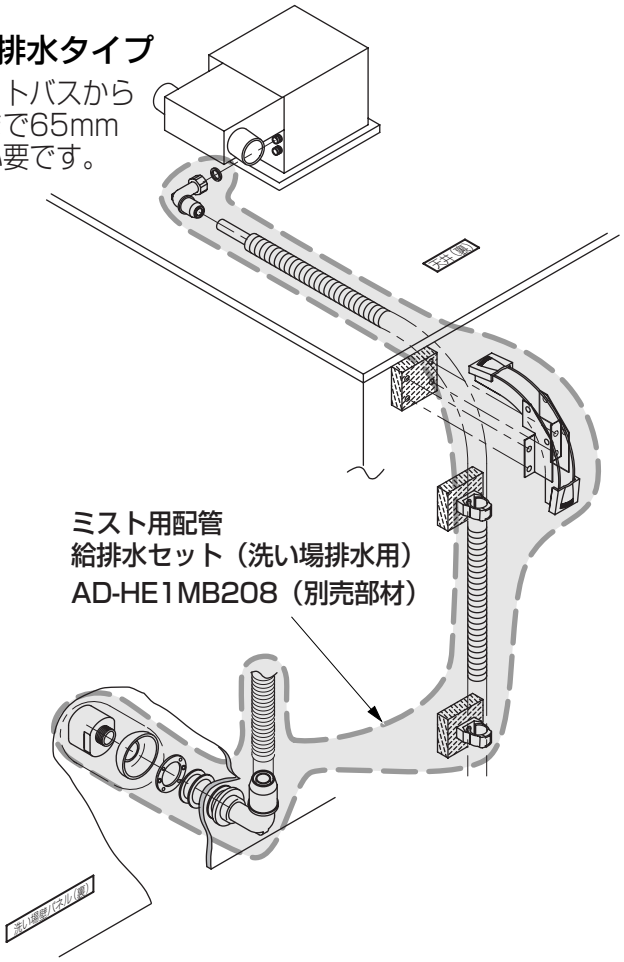
浴槽バス排水タイプ

※ユニットバスから
壁面まで65mm
以上必要です。



洗い場排水タイプ

※ユニットバスから
壁面まで65mm
以上必要です。

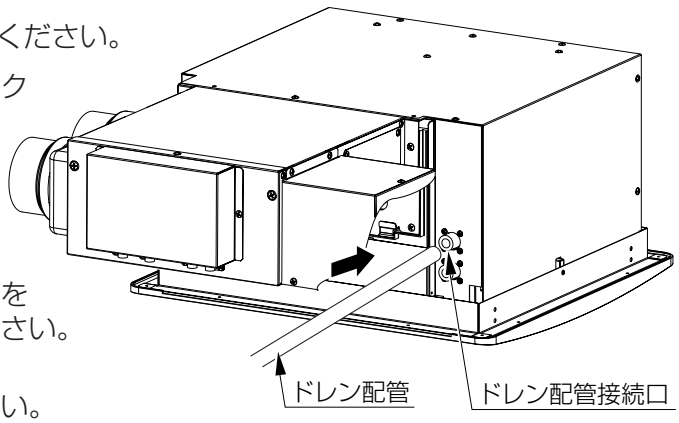


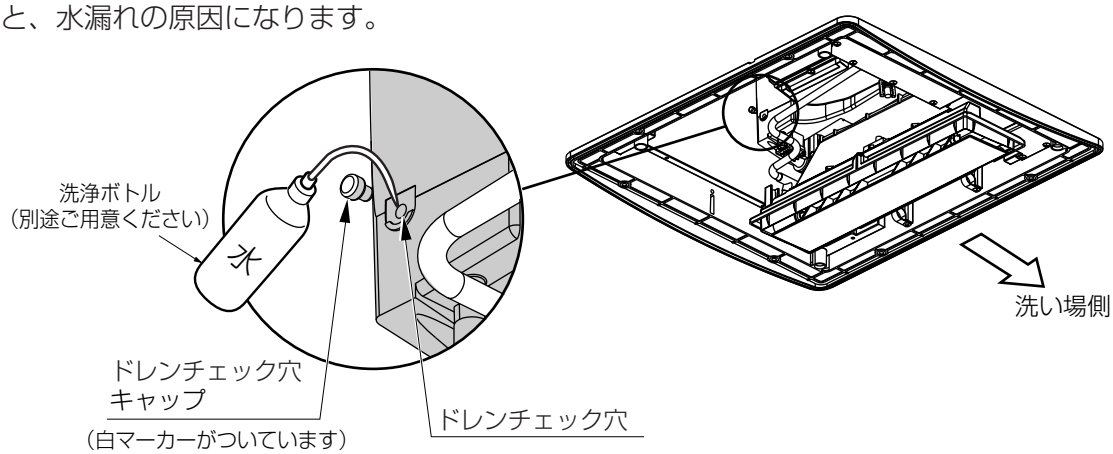
※図は排水部材のみを記載しています。

①ドレン配管接続口（G1/2）に排水部材を接続してください。

②排水部材接続終了後、製品本体内部のドレンチェック穴キャップをはずし、ドレンチェック穴より水を入れ、確実に排水されることを確認してください。
※排水されない場合は、ドレン配管に下り勾配を設け、確実に排水がされるように配管を引き廻してください。水漏れの原因となります。
※水を注入する際は、「洗浄ボトル」（現地調達）を使用し、周囲に水漏れしないように注意してください。

③ドレン配管の排水確認後、ドレンチェック穴はドレンチェック穴キャップで確実にふさいでください。
確実にふさがないと、水漏れの原因になります。





電気工事と結線

⚠ 警告

■設置工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「水道法」「各都市の条例」に従って確実におこなう

設置に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

■アース工事をおこなう

アース線接続

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

■漏電ブレーカーを必ず取り付ける

感電の原因となることがあります。

■必ず定格電圧で使用する

守らないと火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意

■配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう

電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

お願い

■専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものをお選びください。

■本製品は200Vと100V両方の接続があります。過って接続しないでください。

(FY-28US3HPには100Vの接続はありません)

1. リモコンコードの結線

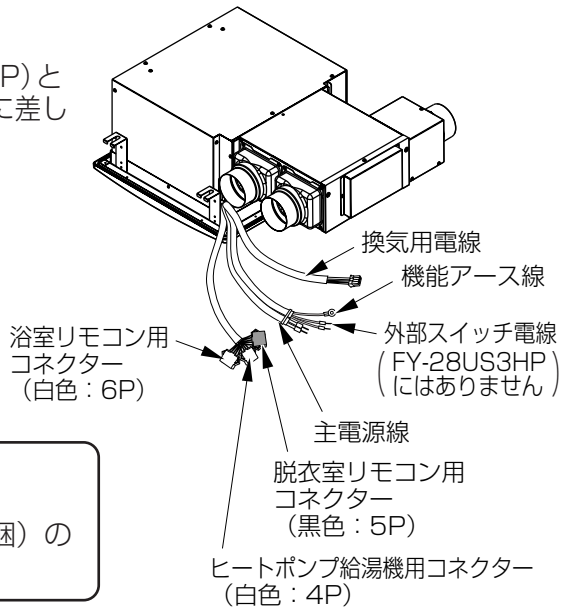
脱衣室リモコンコードの結線

製品本体より出ている脱衣室リモコン用コネクター(黒色：5P)と脱衣室リモコンコード(付属品）コネクター(黒色：5P）を確実に差し込んでください。

お願い

・リモコンコードは切ったり継ぎ足したりしないでください。
・ノイズによる誤動作防止のため、**リモコンコードと電源線を接触させたり、リモコンコードを輪にして束ねないようにしてください。**

※リモコンコードの配線はリモコン側と本体側とでコネクター形状が異なるため、間違えずに接続してください。

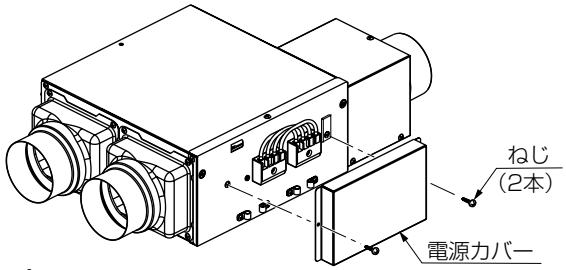


浴室リモコンコードの結線

浴室リモコンコード（浴室リモコンFY-B28USC1HPに同梱）の結線は、浴室リモコン付属の工事説明書をご参照ください。

2. 電源線の結線

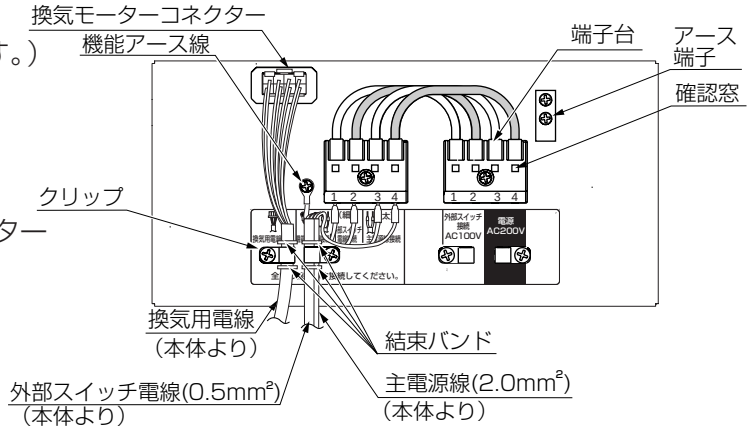
① 電源カバーを止めているねじ（2本）をはずし、
電源カバーをはずします。



②本体より出ている主電源線(2.0mm²)を
端子台に図のように挿入します。
（確実に挿入されたことを確認窓で確かめます。）

※主電源線は外部スイッチ電線(0.5mm²)
よりも線径の太い電線です。

(FY-28UST3HP)

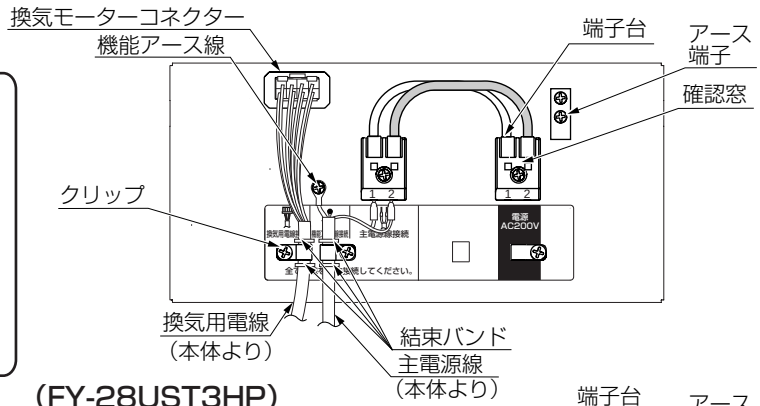


③ 本体より出ている換気用電線を、換気モーター
コネクターに挿入します。

④ 機能アース線を接続します。

※換気用電線と外部スイッチ電線、主電
源線は、端子台接続部に張力が加わら
ないようにクリップにて確実に固定し
てください。

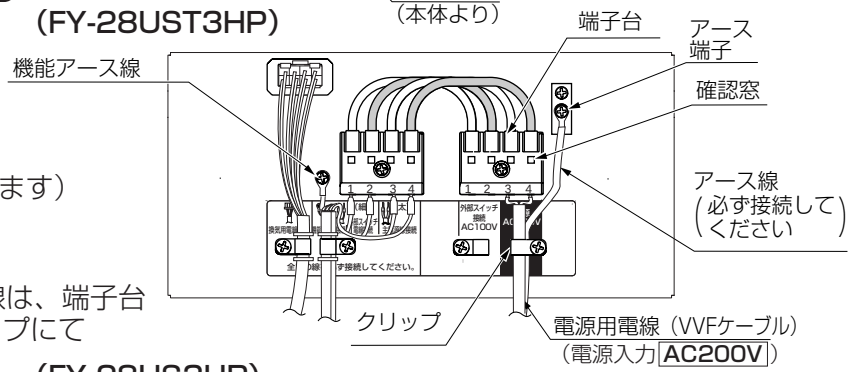
(FY-28US3HP)



お願い

- **外部スイッチ電線と主電源線を過って接続しないでください。**
- **換気モーターコネクター挿入時は、電源が投入されていないことを確認してください。**
- **換気モーターコネクター接続ミス(H31)が出た場合、必ずブレーカーをOFFにしてからコネクターを差し直してください。機器が破損します。**

(FY-28UST3HP)

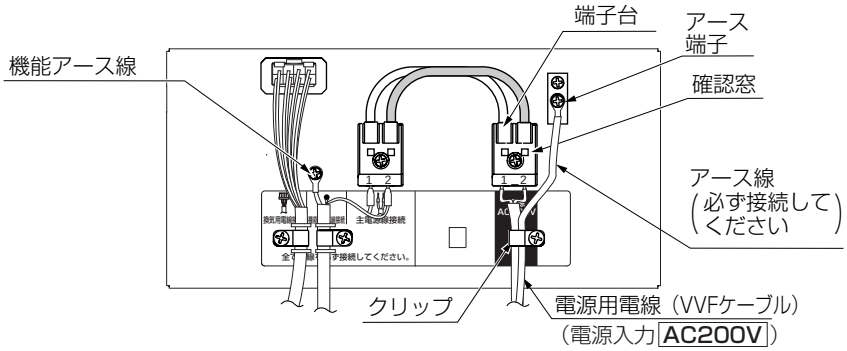


⑤ 電源用電線
（ VVFケーブル φ2.0/φ1.6　2心
電源入力 **AC200V** ）
を、端子台に図のように挿入します。
（確実に挿入されたことを確認窓で確かめます）

⑥ アース線を接続します。

※電源用電線（VVFケーブル）とアース線は、端子台
接続部に張力が加わらないようにクリップにて
確実に固定してください。

(FY-28US3HP)



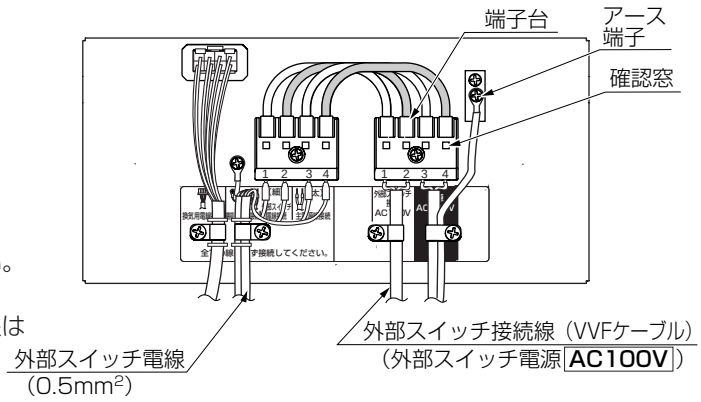
電気工事と結線（続き）

3. 外部スイッチ接続線の結線

※詳しくは25ページの施工例を参照してください。

・外部スイッチ接続線の端子台にあるラベルをはがしてください。
・外部スイッチ（現地調達部品）の接続線（VVFケーブルφ2.0/φ1.6　2心 / 外部スイッチ電源 AC100V）を、外部スイッチ接続用端子台に挿し込みます。

※接続した外部スイッチにより製品本体の換気ファンを運転することができます。
※外部スイッチは接続可能であることを事前に確認ください。
※確実に挿入されたことを確認窓で確かめてください。
※外部スイッチを取り付けない場合でも、外部スイッチ電線は必ず端子台に挿入して結線してください。
※外部スイッチ接続線（VVFケーブル AC100V）は、端子台接続部に張力が加わらないようにクリップにて確実に固定してください。

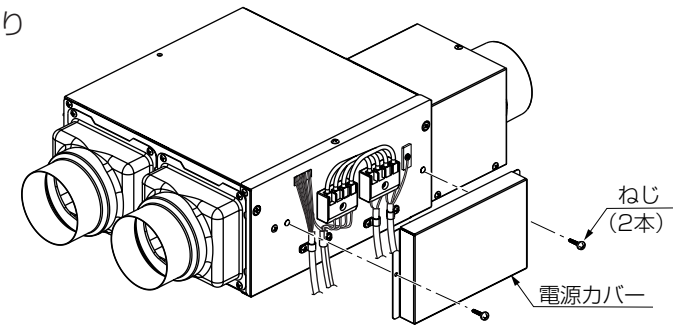


お願い

・外部スイッチ接続端子に誤ってAC200Vを接続しないでください。機器が破損します。
・電気工事が終了したら、必ず結線間違いがないかチェックしてください。

4. 電源カバーの取り付け

電源カバーを取りはずしたねじ2本で元通り取り付けます。
このとき電線のはさみ込みや、
ねじの取り付け忘れに注意してください。

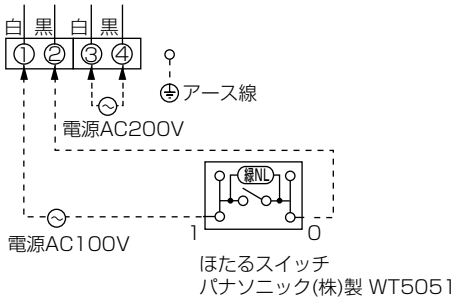


◆ 施工例（外部スイッチ）（FY-28UST3HPの場合）

お願い

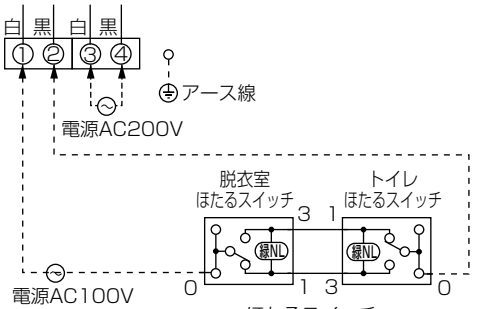
・外部スイッチの**漏れ電流は1.4mA以下**のものを使用してください。
　また、外部スイッチ接続線には21mAが流れますので、これに適合するスイッチを選定してください。
　適合しないスイッチを接続すると正常に作動しません。
（遅れ停止スイッチ[電子]パナソニック(株)製WTC5383Wは使用できません。）
・適合スイッチについては本ページ以降の施工例をご参照ください。
　※天井裏での結線はジョイントボックスを使用してください。

●ほたるスイッチの場合
（ケース1）



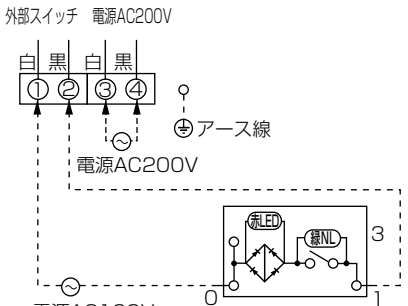
ほたるスイッチ
パナソニック(株)製 WT5051

（ケース2）



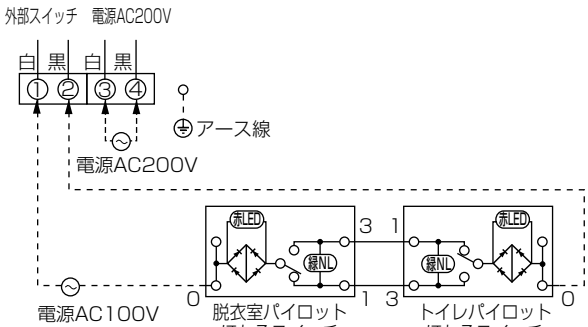
ほたるスイッチ
パナソニック(株)製 WT5052

●パイロットほたるスイッチの場合
（ケース1）



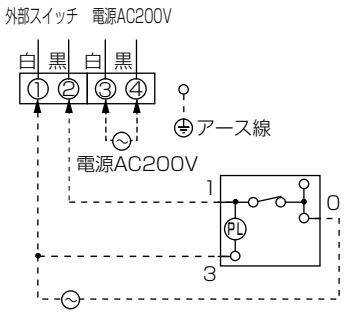
パイロットほたるスイッチ
パナソニック(株)製 WT50412

（ケース2）



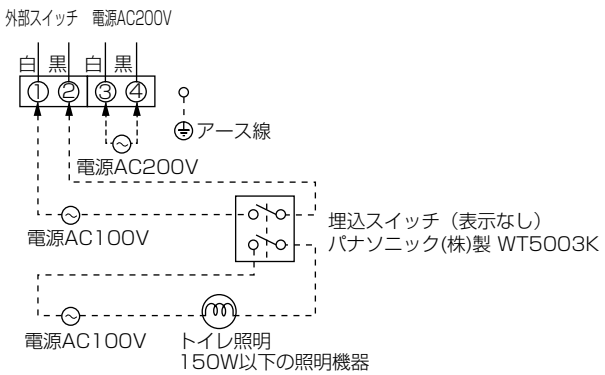
パイロットほたるスイッチ
パナソニック(株)製 WT50422

●ひかるスイッチの場合

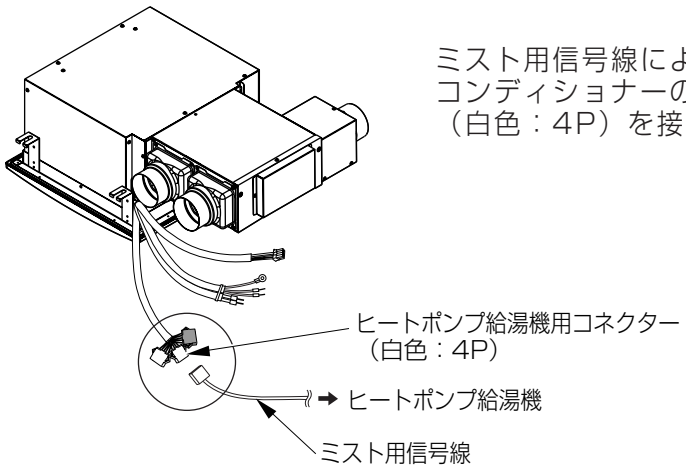


ひかるスイッチ
パナソニック(株)製 WT5341

●トイレ照明連動スイッチの場合



ヒートポンプ給湯機との信号線接続



ミスト用信号線により、ヒートポンプ給湯機とバスルーム
コンディショナーのヒートポンプ給湯機用コネクター
（白色：4P）を接続してください。

ミスト用信号線

10m	AD−HE1ML10
17m	AD−HE1ML17

脱衣室リモコンの取り付け

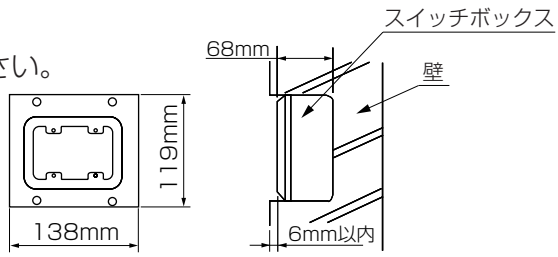
取り付け前に

スイッチボックスを使って設置する場合

スイッチボックス（JIS C8340）を使用して取付けます。
スイッチボックスの埋め込みは、あらかじめ指示してください。

取付可能な スイッチボックス	壁穴開口サイズ
2個用カバー付き	100×100 mm
2個用カバーなし	100×100 mm
1個用	100×55 mm

※スイッチボックスは現地調達部品です。



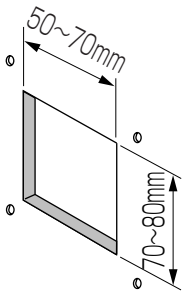
（2個用スイッチボックスカバー付きの場合）

お願い

電線管は、内径がφ20mm以上のものを使用してください。
（JIS C8305:G22・C25・E25以上の呼び径）

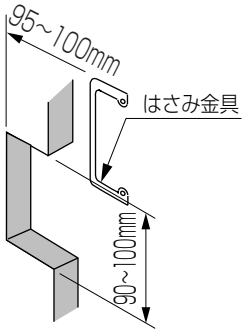
直接壁に取り付ける場合

図のサイズの開口を開けてください。
壁開口は幅 50～70(mm)、高さ 70～80(mm)必要です。



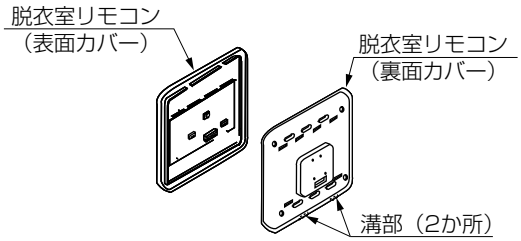
はさみ金具を使って取り付ける場合

図のサイズの開口を開けてください。
壁開口は幅 95～100(mm)、高さ 90～100(mm)必要です。
※はさみ金具はパナソニック(株)製 WN3992K020をご使用ください。

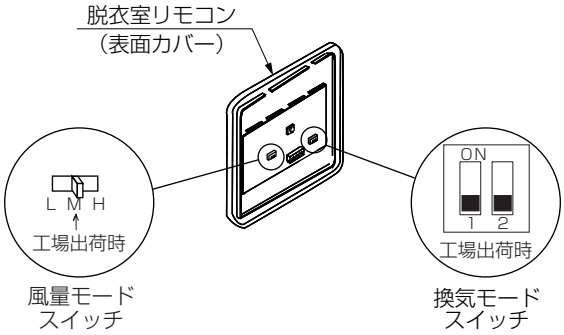


取り付け作業手順（24時間換気風量の設定含む）

①脱衣室リモコンに傷が付かないように、マイナスドライバーなどを裏面カバー下部の 溝に差し込み、裏面カバーをはずしてください。



②住宅の延べ床面積に応じて、基板上の換気モードスイッチおよび風量モード スイッチを設定してください。



・換気モードスイッチの設定
24時間換気風量を設定します。

換気モードスイッチの設定		ON 1 2	ON 1 2 (工場出荷時)	ON 1 2	ON 1 2
24時間換気標準設定風量 (m^3/h)	FY-28UST3HP	75	100	125	150
	FY-28US3HP	40	60	80	100

※換気モードスイッチには ON 1 2 または 1 2 OFF の表示がありますが、スイッチの設定のしかたは同じです。

施工者設定モード(脱衣室リモコンによる設定)

24時間換気標準設定風量 (m^3/h)	FY-28UST3HP	50	175	200
	FY-28US3HP	–	–	–

※施工者設定モードによる24時間換気風量の設定方法→30ページ参照

・風量モードスイッチの設定
換気風量を設定します

風量モードスイッチの設定			L M H	L M H (工場出荷時)	L M H
換気設定風量 (m^3/h)	FY-28UST3HP	換気　強	160	180	200
		換気　弱	80	80	80
	FY-28US3HP	換気　強	110	130	150
		換気　弱	50	80	110

脱衣室リモコンの取り付け（続き）

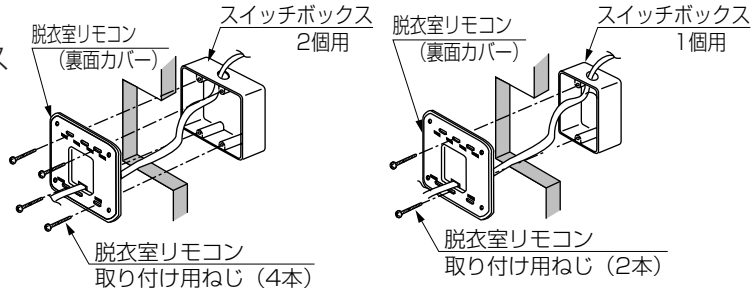
お願い

スイッチの操作は、指先でおこなってください。
ドライバーなどで操作すると基板を傷つけて故障の原因となることがあります。

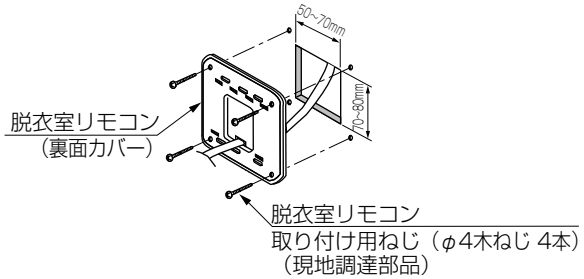
③ 脱衣室リモコンを壁面に固定してください。

スイッチボックスを使う場合

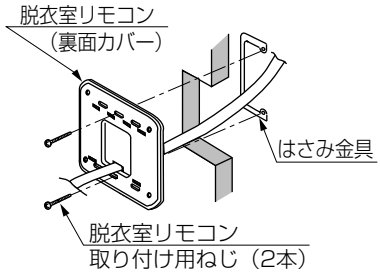
脱衣室リモコンコードをスイッチボックス内に納め、脱衣室リモコン裏面カバ ーを付属の脱衣室リモコン取り付け用ねじ(M4×35)4本で固定します。



直接壁に設置する場合



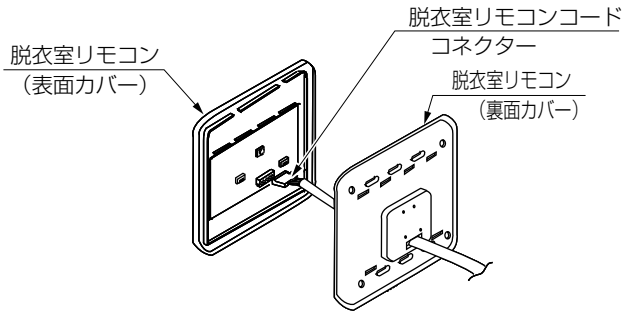
はさみ金具を使って設置する場合



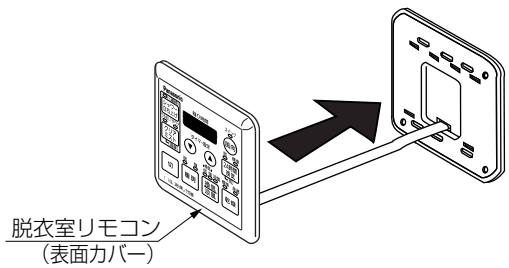
お願い

脱衣室リモコン（裏面カバー）の固定時には、電動ドライバーを使わずに、裏面カバーが動かない程度にねじを締め込んでください。
（目安20N·cm (2kgf·cm) 以下）
締めすぎると裏面カバーが変形したり、割れたり、表面カバーが取り付かないおそれがあります。

④ 図のように脱衣室リモコンコードのコネクターを差し込みます。



⑤ 脱衣室リモコン（表面カバー）を取り付けてください。



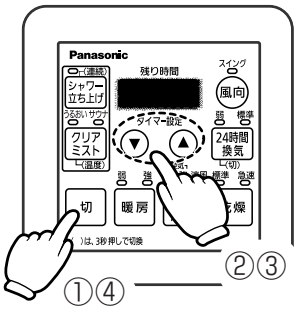
※別売の音声ガイド付浴室リモコン（FY-B28USC1HP）の取り付けは、音声ガイド付浴室リモコン付属の工事説明書をご参照ください。

各種設定

脱衣室リモコンの設定

注）この操作は脱衣室リモコン設置後、本体の電源を入れてからおこなってください。

ユーザー設定モードの変更



① 切 ボタンを押す。（本体が停止していることを確認）
24時間換気が運転している場合は 24時間換気 を3秒以上押して運転を停止させてください。

② 停止中に ▼ ボタンを4秒以上押す。

③ 残り時間表示部に A00 が表示されます。
（FY-28US3HPは Y00 が表示されます）
▼ ボタンで設定項目、▲ボタンで設定内容を変更できます。

④ ▼▲ ボタン以外のボタンを押す。（ 切 ボタンを押す）
残り時間表示部は消灯し、変更内容で設定されます。

・外部スイッチによる遅れ停止機能の遅れ時間を変更できます。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）		
A00	外部スイッチの遅れ停止時間変更	A00（出荷時設定）	0分	0～10分まで1分毎に設定できます。（FY-28UST3HPのみ）
		⋮	⋮	
		A10	10分	

・ミスト運転終了後から、本体自動乾燥運転開始までの時間を変更できます。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）		
Y00	本体自動乾燥に入る時間	Y00	ミスト運転終了0分後	スタート時間は、30分毎に設定できます。
		Y05	ミスト運転終了30分後	
		Y10（出荷時設定）	ミスト運転終了1 時間後	
		⋮	⋮	
		Y60	ミスト運転終了6時間後	

・エアーフィルターのお掃除の目安として、リモコンに「FIL」が表示されるまでの時間を変更できます。24時間換気でご使用の場合、720時間=30日間、1080時間=45日間、1440時間=60日間経過するとリモコンに表示されます。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
b00	フィルター積算時間	b00（出荷時設定）	FILを表示しません。
		b01	720時間
		b02	1080時間
		b03	1440時間

・ミスト運転時の準備中を表すマーク（▬→▟→▄→▙）が消える温度の設定を変更できます。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）		
AC○	・クリアミスト シャワー立ち上げ予熱温度設定	AC0	（温度）高	準備中を表すマークが消えるまでの時間が遅くなります。
		AC1		
		AC2		
		AC3（出荷時設定）		
		AC4		
		AC5		
		AC6		準備中を表すマークが消えるまでの時間が早くなります。
		AC7	（温度）低	

※浴室温度の設定（取扱説明書19ページ）での温度の設定によって、設定温度を高くすると、準備中を表示するマーク（▬→▟→▄→▙）の終了温度は高く（通常消えるまでの時間が長くなります）なり、設定温度を低くすると、マークの終了温度は低く（通常消えるまでの時間が短くなります）なります。

（注）浴室温度の設定が浴室内温度より低い場合は、温度が下がらないことがあります。

各種設定（続き）

施工者設定モードの変更

①停止中に ▼▲ ボタンを同時に**4秒以上押す。**

②残り時間表示部に L○○ が表示されます。

▼ ボタンで設定項目、▲ ボタンで設定内容を変更できます。

③▼▲ ボタン以外（ 切 ボタン）を押す。残り時間表示部は消灯し、変更内容で設定されます。

・ヒートポンプ給湯機との通信確認をおこないます。
試運転時に使用します。「試運転調整」（33ページ参照）

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
L○○	ヒートポンプ給湯機 通信確認	L00	待機中
		L01	通信確認中
		→ L00	通信正常
		3分経過 L99	通信エラー

L01 への設定後、3分経過して L00 が表示されれば通信正常。
L99 が表示されれば通信エラーとなります。
ヒートポンプ給湯機が正常に動作するか確認してください。
※通信確認中はヒートポンプ給湯機から温水が供給されます。
ヒートポンプ給湯機の施工とバスルームコンディショナーの配管接続を完了させておいてください。
※本体に異常表示を示していると通信エラーとなりますので、本体の異常を解除してから通信確認を行ってください。

・換気風量を変更できます。（換気機能のある全モード）
通常、設定変更はおこなわないでください。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
P○○	換気風量設定	P01	換気風量低減
		P02（出荷時設定）	換気風量標準
		P03	換気風量増加

・24時間換気運転時の換気風量の変更ができます。
施工する家に合わせた換気風量を選定してください。(FY-28UST3HPのみ)

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
J○○	24時間換気	J00（出荷時設定）	ディップスイッチの設定による
		J05	50m^3/h
		J17	175m^3/h
		J20	200m^3/h

・一定時間経過後の配管内の残水排水の設定を変更できます。
通常、設定変更はおこなわないでください。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
Ab○	残水排水	Ab1（出荷時設定）	残水排水制御なし
		Ab2	残水排水制御あり

「Ab2」に設定された場合、一定期間ごとに排出を実施します。

・凍結防止制御の設定を変更します。
通常、設定変更はおこなわないでください。

設定項目（▼で順送り）		設定内容（▲で順送り）	
AA○	給湯側配管経路の 凍結防止制御	AA0	給湯側配管経路の凍結防止制御なし
		AA1（出荷時設定）	給湯側配管経路の凍結防止制御あり

・o○○ はオプション設定のため、変更しないでください。（出荷時設定は o00 です）

本体内の水抜き設定

①止水栓を閉じる。

②停止中に ▼▲ ボタンを同時に**4秒以上押す。**

③②の操作により残り時間表示部に L○○ が表示されます。

Rd○ が表示されるまで ▼ を数回押す。

④ ▲ ボタンを押し、RdD を Rd1 にする。

●本体内で排水がおこなわれます。約10分後、排水が完了すると風向ルーバーが閉じ、残り時間表示部に RdD が表示され、停止状態になります。

⑤フロントパネルが取り付けられているときは、フロントパネルを開け（32ページ「フロントパネルの取り付け」と逆の手順）給水口フィルターと水抜き用キャップをはずす。（19ページ）

⑥給水口フィルターと水抜き用キャップを取り付け、フロントパネルを取り付けてください。

▼▲ ボタン以外を押すと残り時間表示部は消灯し、水抜きモードを終了します。

（漏電ブレーカーをOFFにしてください。）

※本体内の水抜きは、変更内容の設定記憶はされません。

設定項目（ ▼ で順送り）		設定内容（ ▲ で順送り）	
Rd○	本体内の水抜き	RdD（出荷時設定）	通常
		Rd1	水抜きモード

再度機器を使用する際の設定方法

①漏電ブレーカーをONにしてください。

②止水栓を開きます。

●設定風量表示機能について

換気強または24時間換気単独運転中に設定風量を表示します。

設定風量表示中に外部スイッチがONされた場合は、表示は変化する場合がありますので外部スイッチはＯＦＦにして表示してください。

設定方法

①換気強または24時間換気標準運転中に 、風向 ボタンを4秒以上押す。
残り時間表示部に設定風量を表示します。

②脱衣室リモコンのいずれかのボタンを押すと表示が解除されます。

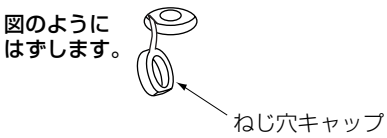
フロントパネルの取り付け

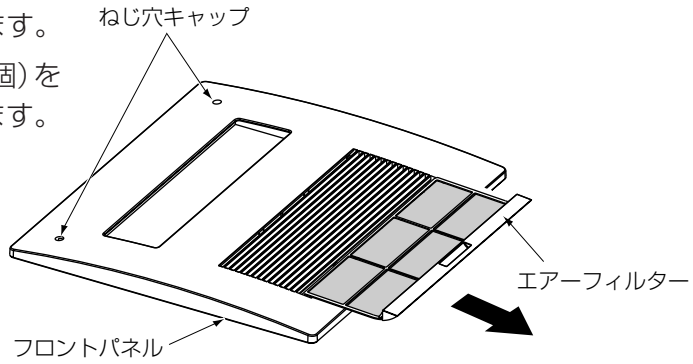
電気工事、配管工事、本体取付工事、リモコン取付工事作業がすべて完了していることを確認したあと、フロントパネルを取り付けてください。

① フロントパネルよりエアーフィルターをはずします。

② フロントパネルに付いているねじ穴キャップ(2個)を先端の細いもので切り欠きを引っ掛けてはずします。

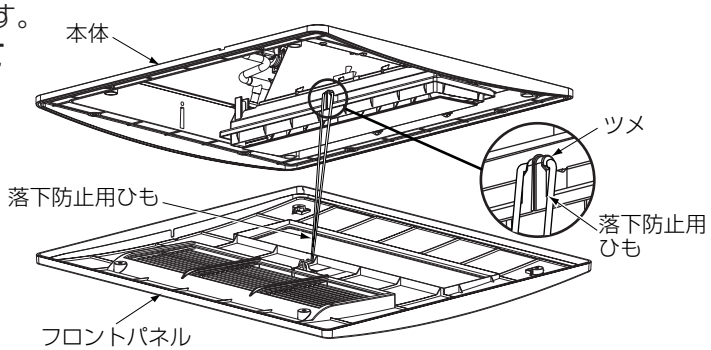
(フロントパネルを傷つけないように注意してください)



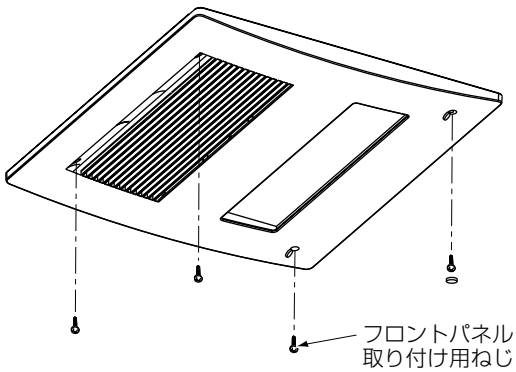


③ 落下防止用ひもを本体側にあるツメに引っ掛けます。

※落下防止用ひもが確実に取り付いているか確認してください。

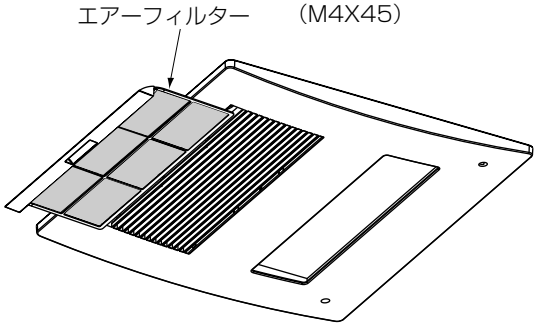


④ フロントパネルを付属のフロントパネル取り付け用ねじ（4本）で取り付けます。



⑤ ねじ穴キャップ（2個）を元通り取り付けます。

⑥ エアーフィルターを取り付けます。



お願い

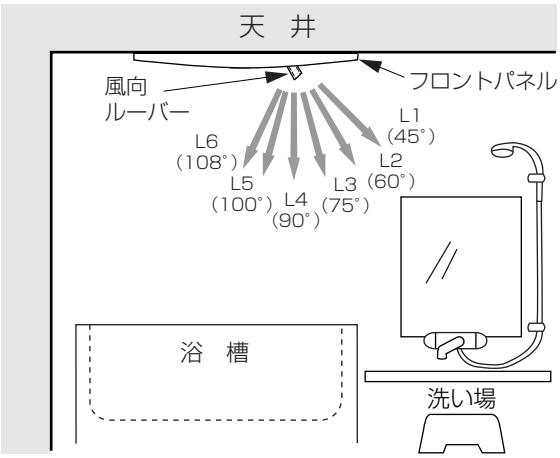
- **ねじの締め込み過ぎに注意してください。**締め込みの目安は、フロントパネルとユニットバス天井とのすき間がなくなった状態で、それ以上のねじの締め込みをやめてください。
  締め込むと本体の固定が緩む原因になります。
  またフロントパネルの破損、そり、たわみ、および振動、騒音の原因にもなります。
- 取り付けたあと、フロントパネルと天井にすき間がないことを確認してください。
- **ねじの締め込みは必ず手締めでおこなってください。**
  （最大締め込みトルクの目安 20N・cm(2kgf・cm)以下）
  電動ドライバーを使用すると締め込みトルクが大きすぎてフロントパネルの破損の原因になります。

試運転調整

試運転の前に

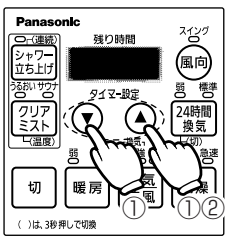
●浴室のドアや窓は必ず閉めてから試運転をおこなってください。閉めない場合、誤動作の原因になります。

① 止水栓を開け、給水できる状態にします。
② バスルームコンディショナーの漏電ブレーカーをONにしてください。
※各モードで異常表示のないことを確認してください。
（ 異常表示 については36ページの表を参照願います）
※風向ルーバーがリセット動作をおこない、リセット位置（閉位置）になることを確認ください。

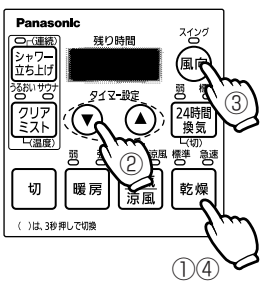


以降の試運転調整は、ヒートポンプ給湯機を動作させた状態でおこなってください。

■ヒートポンプ給湯機との接続確認（26ページ参照）

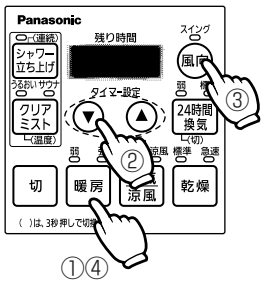
	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 停止中に ▼▲ ボタンを同時に4秒以上押す。	・残り時間表示部に L00 が表示されます。	
	② ▲ ボタンを押す。	・残り時間表示部に L01 表示。	
	約3分間、ヒートポンプ給湯機との接続と動作が正常におこなわれているかを確認します。		
		・約3分経過後、残り時間表示部に L00 表示となることを確認。 L99 が表示されたときは、30ページを参照してください。（ヒートポンプ給湯機から温水が供給されないと L99 が表示されます） ※配管内にエアーが残っていると正常に動作していても L99 が表示されることがあります。そのときには再度 L01 を表示させ、確認をおこなってください。	
	▼▲ ボタン以外（ 切 ）ボタンを押して元にもどす。		

■乾燥運転

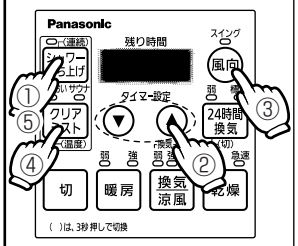
	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 乾燥 ボタンを押す。	・乾燥標準ランプ点灯	
		・残り時間“2:00”（電源投入時）表示	
		・製品吹出口より温風が出ていることを手で確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 風向 ボタンを押す。	・風向ルーバーの角度が L4 → L5 →L6 →オート(LA1) →(LA2) （電源投入時） ↑——— L3 ← L2 ← L1 ←(LA3) ←——┘ と切り換わることを確認。 （オート時は、スイング ランプが点灯） ※ 風向 ボタンを押すと残り時間表示部にルーバー角度が表示されます。	
	④ 乾燥 ボタンを押す。	・乾燥急速ランプ点灯	
		・急速運転に切り換わることを確認	

試運転調整（続き）

■暖房運転

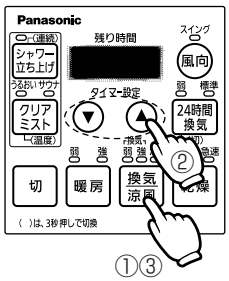
	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 暖房 ボタンを押す。	・暖房弱ランプ点灯	
		・残り時間“0:30”表示	
		・製品吹出口より温風が出ていることを手で確認	
		・風向ルーバー「L3（電源投入時）」位置を確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 風向 ボタンを押す。	・風向ルーバーの角度が切り換わることを確認	
		・オート動作(LA)の確認（スイングランプ、オート動作）	
	④ 暖房 ボタンを押す。	・風向ルーバー「L3（電源投入時）」位置を確認	
		・暖房強ランプ点灯	
		・暖房強運転に切り換わることを確認	

■シャワー立ち上げ運転

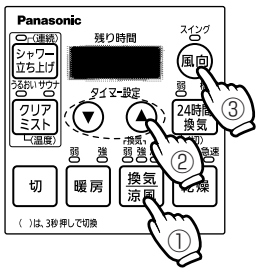
	操　作	確　認　事　項	チェック
	① シャワー立ち上げ ボタンを押す。	・シャワー立ち上げランプ点滅 ・クリアミスト（うるおい）ランプ点灯	
		・残り時間“1:00”（電源投入時）表示 （残り時間表示部にミスト運転準備表示として － → ▯ → ▯ → ▯ の表示を確認）	
		・製品吹出口およびノズルより温水および温風が出ていることを確認 （浴室温度によって、ボタン操作後90秒～2分後に数十秒から数十分噴霧します）	
		・風向ルーバー「L3（電源投入時）」位置を確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 風向 ボタンを押す。	・風向ルーバーの角度が切り換わることを確認	
		・オート動作(LA)の確認（スイングランプ、オート動作）	
	④ クリアミスト ボタンを3秒以上押す。	・クリアミスト温度設定“3”表示を確認	
		・▼▲ ボタンによってクリアミスト温度設定表示がかわることを確認	
	数分から数十分経過後、シャワー立ち上げランプが消灯し、シャワーが停止することを確認、その後、本体内の水噴射音および、排水によりクリアミスト運転に切り換ったことを確認		
	⑤ シャワー立ち上げ ボタンを3秒以上押す。	・シャワー立ち上げランプ点灯	
		・製品吹出口およびノズルより温水および温風が出ていることを確認	

・「シャワー立ち上げ運転」「クリアミスト（うるおい/サウナ）運転」は、必ずヒートポンプ給湯機に残湯があることを確認してください。（残湯量に関しては、ヒートポンプ給湯機の取扱説明書をご確認ください）
残湯がないと”H47（低温温水異常）”となり機器が停止します。（表示するまで5分程度かかります）

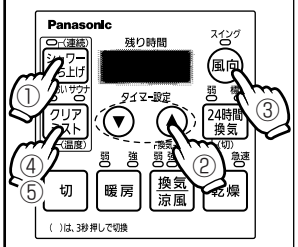
■換気運転

	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 換気 涼風 ボタンを押す。	・換気弱ランプ点灯	
		・残り時間“4:00”（電源投入時）表示	
		・風向ルーバーが 閉の位置になることを確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 換気 涼風 ボタンを押す。	・換気強ランプ点灯	
		・換気強に切り換わることを確認	

■涼風運転

	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 換気 涼風 ボタンを押す。	・涼風ランプ点灯	
		・残り時間“0:30”（電源投入時）表示	
		・製品吹出口より送風されていることを手で確認	
		・風向ルーバー「L3（電源投入時）」位置を確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 風向 ボタンを押す。	・風向ルーバーの角度が切り換わることを確認	
		・オート動作(LA)の確認（スイングランプ、オート動作）	

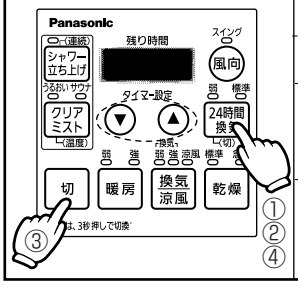
■クリアミスト（うるおい/サウナ）運転

	操　作	確　認　事　項	チェック
	① クリアミスト ボタンを押す。	・うるおいランプ点灯	
		・残り時間“1：00”（電源投入時）表示 （残り時間表示部に、ミスト運転準備表示として － → ▯ → ▁ → ▯ の表示を確認）	
		・製品吹出口より温風が出ていることを手で確認	
		・風向ルーバー「L3（電源投入時）」位置を確認	
	② ▼▲ ボタンを押す。	・残り時間表示が変わることを確認	
	③ 風向 ボタンを押す。	・風向ルーバーの角度が切り換わることを確認	
		・オート動作(LA)の確認（スイングランプ、オート動作）	
	④ クリアミスト ボタンを3秒以上押す。	・クリアミスト温度設定“3”表示を確認	
		・▼▲ ボタンによってクリアミスト温度設定表示が変わることを確認	
		・噴射音および、排水の確認 （クリアミスト噴射までに数分から数十分かかります。 クリアミスト温度設定を“1”にしますと クリアミスト噴射までの時間が短くなります）	
	⑤ クリアミスト ボタンを押す。	・サウナランプ点灯 ・残り時間“1：00”（電源投入時）の表示を確認	

・ミスト運転終了後、60分（出荷時設定の場合）経過したら残り時間表示部に“dry”を表示し、約20分間の本体自動乾燥運転をおこないます。
・オート（LA）は非常にゆっくりとしたスイングとなります。

試運転調整（続き）

■24時間運転

	操　作	確　認　事　項	チェック
	① 24時間換気 ボタンを押す。	・24時間換気標準ランプ点灯	
	② 24時間換気 ボタンを押す。	・24時間換気弱ランプ点灯	
	③ 切 ボタンを押す。	・弱ランプ点滅	
		・残り時間“1：00”（電源投入時）表示	
	④ 24時間換気 ボタンを3秒以上押す。	・すべての表示の消灯	
		・機器の停止を確認	

■外部換気スイッチを接続した場合

	操　作	確　認　事　項	チェック
	①外部換気スイッチを「入」にする。	・換気ファンが運転することを確認	
	②外部換気スイッチを「切」にする。	・すべての運転動作が停止したことを確認 （ただし、外部換気スイッチの遅延設定をしている場合は、換気ファンの停止が設定した時間だけ遅れます）	

試運転終了後に

① すべての運転が終了した後に「本体内の水抜き設定」（31ページ参照）を実施し、機器本体内の水抜きをおこなってください。

② 漏電ブレーカーをOFFにしてください。
（試運転で設定変更した残り時間表示、風向ルーバー位置を初期設定値に戻すため）

③ その他
○水漏れ（温水配管接続部など）、異常音、振動、その他異常のないことを確認してください。
○残り時間表示部に3桁の文字が表示されたら、下記表を確認してください。

異常表示

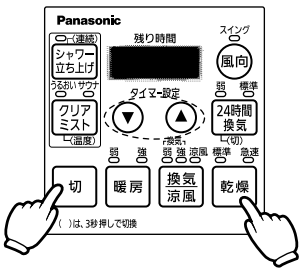
異常項目	異常表示	処　置
脱衣室リモコン通信異常	H21	脱衣室リモコン線の断線、脱衣室リモコン基板、本体基板の確認
浴室リモコン通信異常(※1)	H22	浴室リモコン線の断線、浴室リモコン基板、本体基板の確認
換気ファンモーター異常(※2)	H31	換気ファンモーター、本体基板の確認
循環ファンモーター異常(※2)	H32	循環ファンモーター、本体基板の確認
微差圧センサー異常	H33	微差圧センサー、本体基板の確認
吹出温センサー異常	H34	吹出温センサー、本体基板の確認
吸込温センサー異常	H35	吸込温センサー、本体基板の確認
給水温センサー異常	H41	給水温センサー、本体基板の確認
排水異常	H42	排水勾配の確認、フロートセンサー、本体基板
給水異常	H43	給水接続の確認
ノズル目づまり異常(※3)	H44	給水圧、ノズル、電磁弁、本体基板、吹出温センサーの確認
排水温センサー異常	H45	排水温センサー、本体基板の確認
高温温水異常	H46	給水温センサー、本体基板の確認、ヒートポンプ給湯機、および信号線
低温温水異常	H47	給水温センサー、本体基板の確認、ヒートポンプ給湯機、および信号線
排水温度異常	H48	排水温センサー、本体基板の確認、ヒートポンプ給湯機、および信号線
給水温度・排水温度差異常	H49	給水温センサー、排水温センサー、本体基板の確認、ヒートポンプ給湯機、および信号線

（※1）浴室リモコンが設置されている場合は、浴室リモコンのみに表示されます。
（※2）異常表示は表示までに約1分かかります。
（※3）異常表示は表示までに数十分かかります。

●リセット操作について

下記の状態のときには、リセットしてください

- 切 を押しても停止しない。
- 脱衣室リモコンのランプが不規則に点灯したり、一度にたくさん点灯している。
- 停電や漏電ブレーカーがOFFでもないのに、リモコンを操作しても動かない。
- 「異常表示」が表示されている。



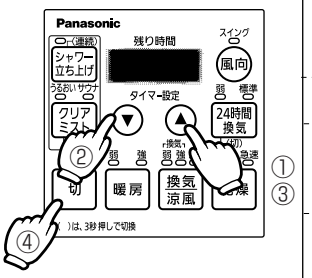
① 切 ボタンと 乾燥 ボタンを同時に2秒以上押す。

② うまくリセットできないときは、もう1度繰り返す。
それでもうまくいかないときは、お買い上げの
販売店に連絡してください。

※リセット後は停止状態になります。必要に応じて運転ボタンを押してお使いください。

●異常表示の記憶表示について

脱衣室リモコンに過去10回分の異常表示を表示させることができます。

	操　作	確 認 事 項
	① ▲ ボタンを4秒以上押す。	・最後に記憶された異常表示を表示 （異常が発生していない場合には“ーーー”と表示）
	② ▼ ボタンを押す。	・過去10件まで記憶された異常表示を順番に表示
	③異常表示を表示中に ▲ ボタンを4秒以上押す。	・異常表示をすべて消去
	④ ▼▲ ボタン以外を押す。	・元の表示に戻ります

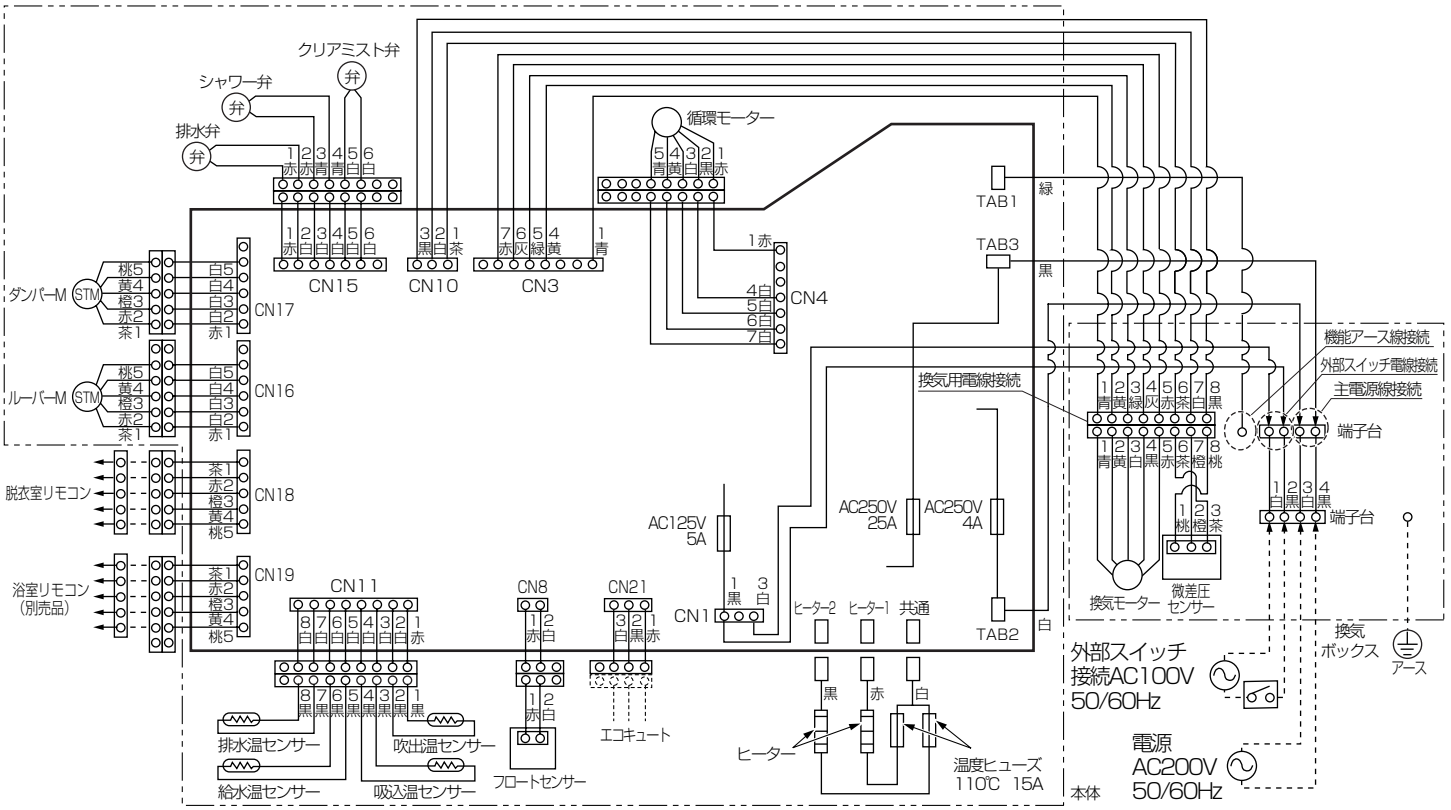
＜風向ルーバーの動作表＞

ルーバー角度	マニュアル							オート			
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	電源投入時	LA	LA1	LA2	LA3
暖房　強	45°	60°	75°	90°	100°	108°	75°（L3）	60～90°（約14秒）	——		
暖房　弱							75°（L3）	60～90°（約14秒）	——		
涼　風							75°（L3）	50～108°（約28秒）	——		
乾燥　急速							90°（L4）	——	45～108°（約2分）	60～90°（約58秒）	80～108°（約54秒）
乾燥　標準							90°（L4）	——	45～108°（約2分）	60～90°（約58秒）	80～108°（約54秒）
クリアミスト サウナ							75°（L3）	60～90°（約14秒）	——		
クリアミスト うるおい							75°（L3）	60～90°（約14秒）	——		

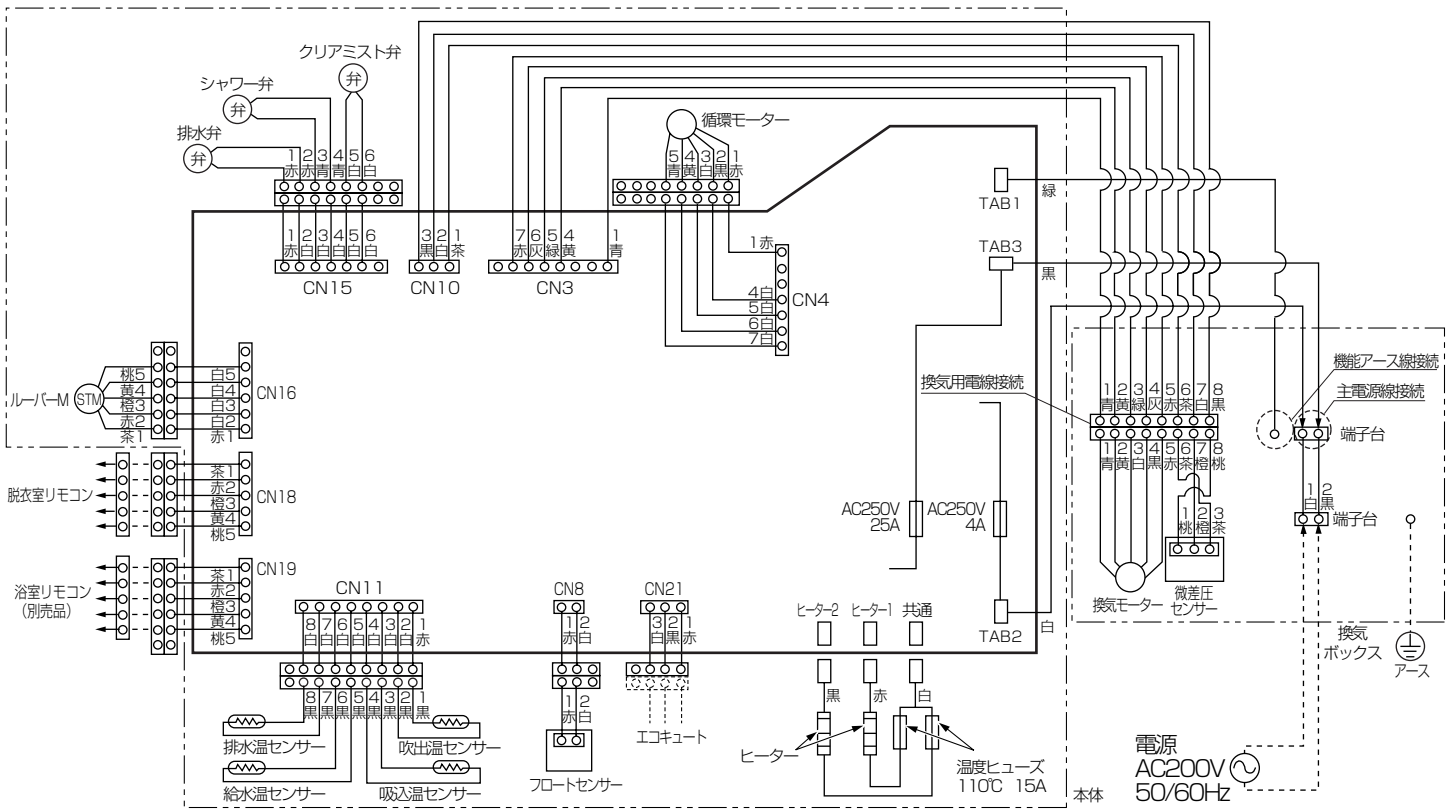
（　）内はスイング周期

電気回路図

（FY-28UST3HP）



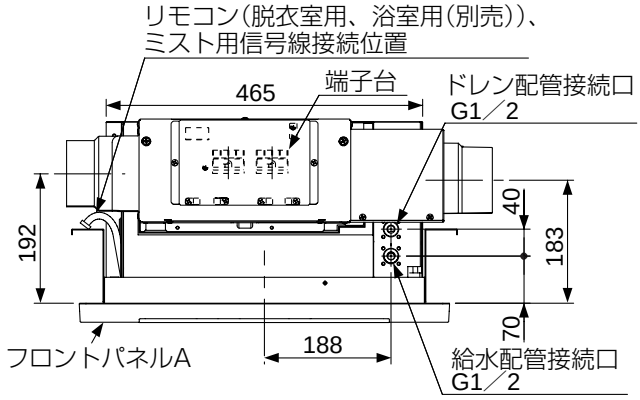
（FY-28US3HP）

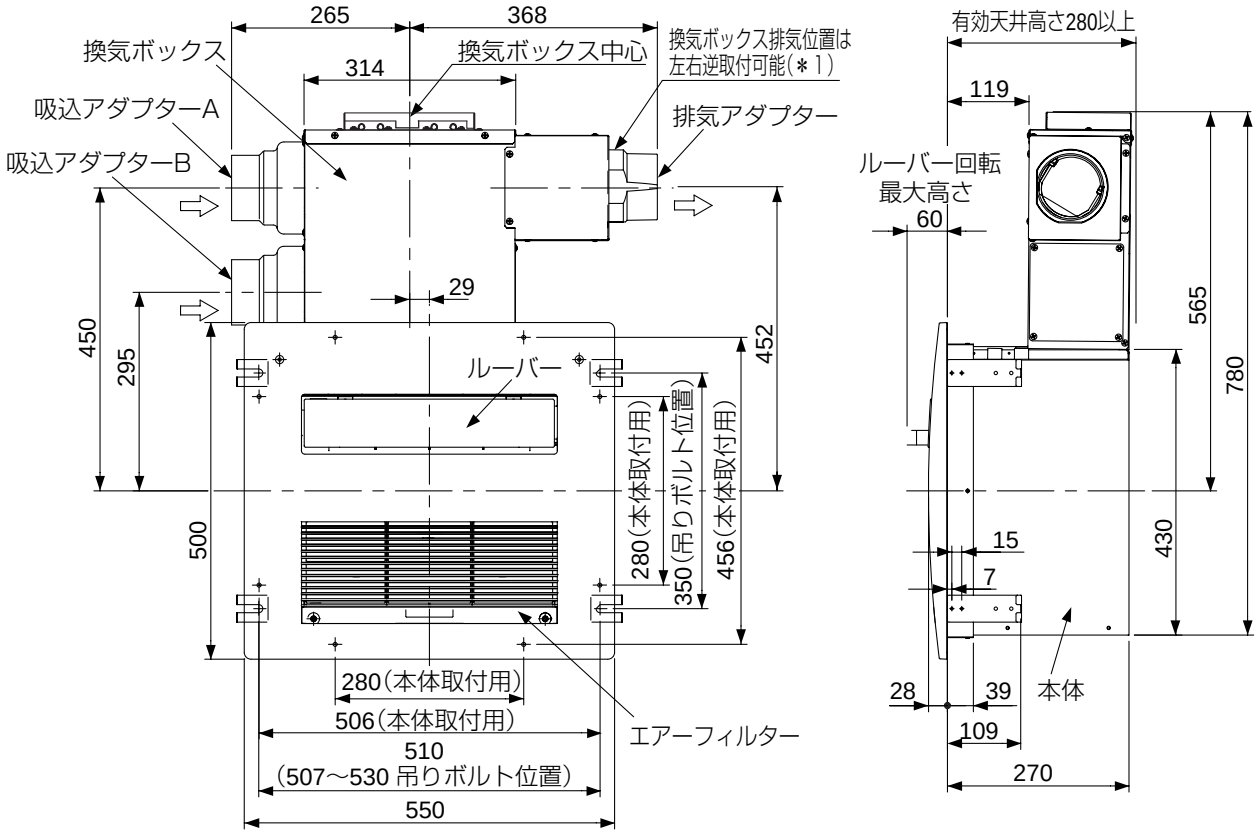


各部の名前と寸法

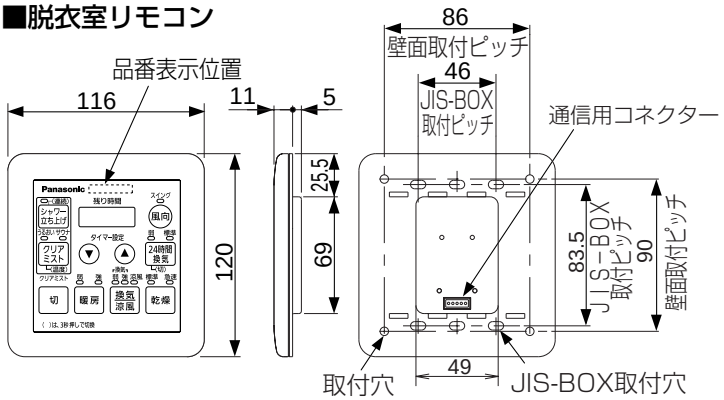
■バスルームコンディショナー本体

単位：mm

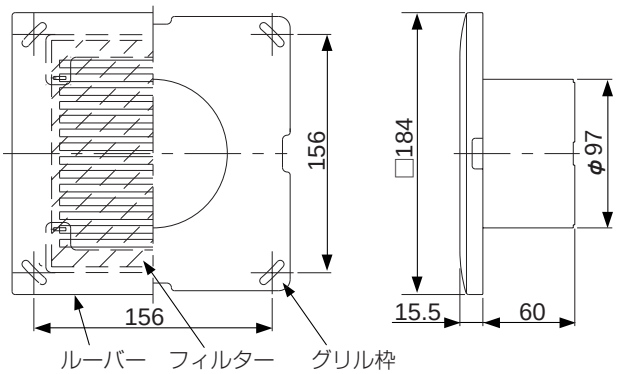




■脱衣室リモコン



■吸込グリル



※イラストはFY-28UST3HPを示しています。

設置確認チェックリスト

項　　目	内　　容	参照ページ	チェック欄
本体設置	ユニットバスの選定は適切ですか。	8ページ	
	機器の重量に対し十分な強度を確保していますか。	11ページ	
	メンテナンスに必要な点検口、空間はありますか。	10ページ	
	フロントパネルの落下防止用ひもは、確実に本体に取り付けられていますか。	32ページ	
給湯工事	給水圧は適切ですか。0.10～0.19MPa（1.0～1.9kgf／cm^2）	18ページ	
	配管接続部から水漏れはありませんか。	18～21ページ	
	給水口フィルターにゴミは詰まっていませんか。	19ページ	
ドレン工事	ドレンチェック穴より水を入れたときに、排水は確実におこなわれていますか。	21ページ	
	クリアミストモードで試運転をおこなったときに、排水は確実におこなわれていますか。 ※排水時に「ゴボ」や「ポコ」という音がする場合、ドレン配管の下り勾配がとれていない可能性があります。	20～21ページ 35ページ	
電気工事	AC200VとAC100Vの接続に間違いはありませんか。	22～24ページ	
	機器本体側から出ている電線は、間違いなく指定の位置に接続されていますか。	22～24ページ	
	主電源線、換気用電線は確実に端子台に挿入されていますか。（確認窓からの確認をお願いします）	22～24ページ	
	アース工事はおこなわれていますか。	22～24ページ	
	漏電ブレーカーは取り付いていますか。	22～24ページ	
運転	各種運転は確実におこなわれていますか。	33～37ページ	
	クリアミストモードでの運転終了一定時間後、本体自動乾燥運転は確実におこなわれていますか。	33～37ページ (取扱説明書20ページ)	
	風向ルーバーの動作は確実におこなわれていますか。	33～37ページ	
	試運転終了後に「水抜き」をおこないましたか。 また「水抜き」終了後に、〝水抜き用キャップ〟および〝給水口フィルター〟は確実に取り付けましたか。	19ページ 31ページ	
ダクト工事	ダクトの接続は空気漏れなどなく確実におこなわれていますか。	16ページ	
	排気ダクトは下り勾配が確保されていますか。	16ページ	
特定保守製品に関するお願い	取扱説明書と所有者票は、建築工事責任者、特定保守製品取引事業者またはお客様に渡されましたか。	表紙	

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511
©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2009
28UST3451DHP-P0309-4012